



# 愛知陸協広報

第 11 号

20 年 9 月 30 日発行

愛知陸上競技協会

〒460 - 0012 名古屋市中区千代田二丁目 19 番 16 号千代田ビル 7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ : url <http://goldjaic.org/jaic/member/aichi/>

## インターハイで栄冠を手に

中村明彦選手（八種競技）が日本高校新で優勝 今井沙緒里選手（200m）河澄真子選手（走高跳）も優勝



岡崎城西高校 中村 明彦

高校日本新記録の 5900 点、キリがいいようで悪いような気もする。目標だった 6000 点まであともう 100 点。これが今の自分の力でした。

今思えば、八種競技を始めた頃は体力作りの一環でした。その後、本格的に八種競技に取り組み出したのが 2 年生の冬。その頃は日本記録なんて考えたこともなく、ただ漠然とインターハイで優勝したいと考えていました。自分の苦手である投擲種目を克服するため、朝練習で投げ込みました。その結果本番では努力が実を結び、投擲種目でベストを更新することができたことが嬉しかったです。

長距離あがりのハイジャンパーとして陸上と向き合った高校生活、今まで全てのことが積み重なって今の自分があると思います。自分を見守り支えてくれた先生方や友人、家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

至学館高校 今井沙緒里

1 年生の時にインターハイで 200m で入賞し、来年はもっと上位に入賞するぞと意気込んでいたのに 2 年生ではうまくいきませんでした。その思いを今年のインターハイにぶつけました。100m は残念な結果に終わりましたが、200m では優勝という最高の結果で締めくくることができました。指導して下さった稲垣先生や応援してくれた多くの人に本当に感謝したいです。ありがとうございました。



岡崎城西高校 河澄 真子

高校生活最後のインターハイで優勝。1 年生では 10 位、2 年生では 4 位という結果だったので、「今年こそは絶対に優勝したい」という気持ちで臨みました。

試合前の緊張感はなかったのですが、シーズンインから調子が上がっていなかったのが少し不安でした。試合中にミスを繰り返してしまい窮地に立たされましたが、最後まで諦めずに跳びました。

高校入ってからずっと目標にしていたインターハイ優勝。素直に嬉しかったです。いつも支えてくれた周りの方々に感謝しています。





## 上半期を終えて

副会長兼理事長 國分 一郎

- 1 今年には東海地区の高校生・中学生等の大会が、愛知では開催されませんでした。その分、競技情報処理委員長や審判委員長は幾分気が楽ではなかったかと思えます。ただ7月に愛知混成、愛知選手権リレー、小学生リレー、愛知レディース、中学選抜混成、愛知選手権、中学通信等の大会が毎週開催され、競技者データ入力、プログラム版下作成等、競技情報処理委員会の方々は大変だったと思います。よく乗り切ってくださいました。これからも能力のある人を集め、チームワークを一段と高めていってください。
- 2 今年には全日本中学陸上に参加する生徒が、5名増の58名でした。私が理事長になった14年前には、30名台の年が多かったと思います。当時と比較し普及活動が浸透してきているようです。激励金も多く必要になり、嬉しい悲鳴です。
- 3 今年のインターハイ入賞者は男子が9名、女子が7名+1チームでした。中村明彦君の八種競技5900点の優勝は高校新記録であり、特筆すべき結果です。女子に優勝2名、2位1名がおり、秋の国体につながるものと期待しております。
- 4 秋の国体の選手選考も終わり、8月22日～23日に第1回の合宿を行いました。昨年は700万県民のいる県の成績としては、恥ずかしいものでした。その反省に立って、今年には過去の慣例にとらわれず、勝てる選手の選考をしていただきました。理事会でも論議し承認されました。選手強化委員会の大英断を評価したいと思います。
- 5 トレーナー部会員が、協会主催の大会に5名～8名出席してよく協力してくれました。今年もトレーナー部会員17名が参加し、3泊4日の日程で研修会を実施します。愛知陸協が講師の諸費は全て負担し、受講者の費用も半額負担してしっかり勉強していただきます。日本体育協会公認のアスレティックトレーナー養成講習会に、愛知陸協トレーナー部会員の谷口賢一君の受講が認められました。全国都道府県体育協会・日本体育協会加盟全競技団体から応募があり、簡単に認められない講習会です。先輩の後藤勤君の活躍もあり、認められたものと思います。谷口君は、今夏の全国高校陸上競技大会でもトレーナーのチーフを務めたと聞いております。今後の活躍に期待しています。
- 6 11月3日に、第26回のレディース陸上を瑞穂競技場で開催します。プログラム広告による寄付を各支部、各委員長に集めていただきました。財務委員長・村瀬氏より、目標額を超えたとの報告を受けました。ご協力くださいました方々に厚くお礼申し上げます。
- 7 2か月半に一度、審判出欠可否調査をしておりますが、ハガキ代に10万円、印刷費に2万円、発送の手間もかかります。返信の割合が落ちてきていますので、声を掛け合って返信率が高まるようご協力をお願いします。審判資格を取得した時の情熱を、もう一度思い起こしてください。
- 8 各委員長には委員会の活性化をはかるようお願いし、その計画書を出していただきました。これも各委員長及び各委員の情熱にかかっています。愛知陸協の活動を一步前進させるため、さらなる努力を期待します。

## 支部報告

### 名古屋支部

あの北京オリンピックの感動から2か月、『心技体』の充実の大切さを嫌というほど思い知らされました。4年後のロンドン・8年後の東京?に向けて、現ジュニア選手諸君の奮闘を期待します。名古屋支部でも、全国大会等での中高生の活躍に目を見張るものがありました。次世代の主役となれるよう体力・気力を充実させ、健康管理にも留意して世界に飛び立ってほしいものです。

- 1 全国IH入賞者(男子5名、女子3名、リレー・1校)・おめでとう  
鈴木大介(名古屋大谷、400m③) 牛田朋宏(名古屋、110mH⑧)  
山内博貴(中京大中京、400H⑥) 今枝浩二(至学館、3000SC④)  
鈴木雄貴(中京大中京、三段跳⑥) 今井沙緒里(至学館、200m①)  
水口小夜(愛知淑徳、400m②) 太田 穂(名城大附、七種競技⑦)  
リレー(愛知淑徳、4×400m②) ※丸数字は順位。
- 2 東海中学総体・3位入賞者(男子7名、女子5名、リレー・5校)  
掛川 真(栄、1年100m②) 川野直哉(扇台2年100m③)  
笹田康弘(東海、3年100m②) 岡田壮平(東港、400m①)  
糟谷隆明(守山西、走高跳③) 清水大樹(味美、砲丸投①)  
白石健太(藤森、砲丸投③) 山田恵里(長良、3年100m①)  
家田知佳(東浦西部、3年100m②) 竹内麻里子(阿久比、800m②)  
北島菜璃(高蔵寺、走高跳①) 榊原小侑希(河和、走高跳②)  
低学年4×100mリレー(男子・はとり③、女子・沓掛②、千種③)

共通4×100mリレー(男子・東海①、女子・長良①)

※丸数字は順位。

### 3 今後の主な競技日程(10月以降)

- 10/18・19 名古屋支部選手権大会(瑞穂)  
11/8・9 エブリバディ・デカスロン大会(知多)  
12/6 愛知県市町村対抗駅伝大会(万博記念公園)

### 4 お願い

選手を育てるのも指導者、大会運営をするのも指導者。指導者は、ぜひ審判員としての役目を…。大会審判を通じて選手育成にもご協力をお願いします。(坂井田藤三)

## 尾張支部

上半期を終えて

### 1 上半期の尾張支部所属選手の活躍の足跡

#### ① 全国中学選手権(8/18～21 新潟)

男子	加藤 修(甚目寺3)	200m	22.90
	山田涼馬(浅井3)	400m	51.22
	石黒大輔(今伊勢3)	1500m	4.09.49
	杵本聖貴(古知野3)	110mH	15.06
	墨 訓熙(木曾川3)	砲丸投	13.20
	河室裕貴(弥富2)	200m	22.84
	大村謙吾(弥富3)	棒高跳	4.00
女子	飯田美咲(弥富3)	100mH	14.70

#### ② 全国高校総体(7/29～8/2 埼玉熊谷)

男子	嘉和知諒(津島北3)	110mH、400mH
	一宮西(八木・鈴木・大林・平野)	4×400mR

女子 光田理子(津島北3) 3000mW  
 大津苑美(一宮西3) 3000mW

以上の選手の皆さんが活躍され、尾張の競技力の高さを示してくれました。下半期の大会時に表彰を予定しています。選手、指導者等関係の皆様方のご健闘に祝福と感謝を申し上げます。今後のますますのご活躍と更なる支部の競技力の向上に寄与されるよう、期待しています。

## 2 愛知県一宮総合運動場の改修工事と進捗状況

平成21年度春完成予定の愛知県一宮総合運動場陸上競技場の改修工事が、去る7月下旬から始まりました。待望久しいこの事業に、地元はもとより陸上に携わる様々な人々の期待は高まるばかりです。まだ始まったばかりで、8月初旬段階では現競技場の施設・設備等の撤去作業が中心です。今後は、基盤になるトラック部分やフィールド部分の基礎工事、配管・排水設備等の基本工事等が順次施工され、後半は管理棟や新器具庫等が建設される予定です。改修の主眼は、全天候型の競技施設・設備及び自動計測、写真判定システムの導入など新システムの設置です。

今後の競技運営に直接的な効率化が求められるため、下半期の競技会では、地区の競技運営の中心になっていただく中学・高校・一般の指導者の先生方や競技場職員の皆さんの研修も開始しています。新システムのハード面、ソフ

ト面に精通していただくためには、実際に競技会を通して経験を積み上げていくしか方法がありません。関係の皆様方のご理解とご協力をお願いします。



工事の様子

(原川 豪)

## 西三河支部

北京オリンピックでは不振の日本チームであるが、県内の選手は連日の猛暑の中、すばらしい活躍で新聞紙上をにぎわしている。

特に、岡崎城西高校の選手は、県・東海予選において男子混成競技の中村明彦選手・女子走高跳の河澄真子選手・短距離の市川華菜選手をはじめ多くの選手が活躍し、東海大会では女子総合で初の優勝を勝ち取り、勢いをつけ埼玉

## クラブ紹介⑤ 安城ジュニア陸上クラブ (安城 JAC)

### 「他人に勝つより 己に勝て！」 14年間に立派な選手巣立つ

安城市では「愛知県小学生リレー競走大会」が開催された当時から、陸上競技に熱心な指導者が普及活動に力を入れておられた。その後、10年を経て安城の先生方から「今のままではいい選手が全国大会で走れない、それどころか埋もれてしまう選手も…」と嘆かれ、2年越しで発足にこぎ着けたのが「安城ジュニア陸上クラブ」である。



がんばるクラブ員

活動は次の指導の考え方と運営方法を基に実施している。

- 1 指導のねらい ①チームワーク作り ②選手の主体性 ③目標の意識付け
- 2 参加資格 ①小学校長の推薦選手 ②保護者の承認
- 3 種目編成 ①4×100mR を中心に対応
- 4 練習期間と時間 ①期間：5月～8月(4回/週) ②時間：18:30～21:00

(他の期間は「安城陸上教室」にて年間を通して週1回の活動を実施している)

以上の方法で、陸上競技を通じて「人の思いを分かり合える人づくり」を目指し、

情熱ある指導者たちによる支援活動が進められている。お陰で、選手に自信と積極性が芽生え、生徒会長とか級長にも選出され、生活面を含め家族や学校側から高い支持を得ている。今後も学校、保護者のご協力で立派な選手育成と陸上競技の普及を目指していきたい。

最後に、安城 JAC を応援してくださっている皆さんよりの応援や励ましのメッセージをご紹介します。

【中学校陸上部顧問 小林良博先生】「安城 JAC の練習は大変だけど、楽しい。」と練習に参加している子どもの声。成績を追求することはもちろんだが、それだけではない子ども同士の結びつきや監督・コーチとのふれ合いの場、それが安城 JAC。夏休みが終わって、一段とたくましくなった子どもと会うことが毎年の楽しみである。

【先輩 樋口大慈くん(西尾高)】僕の人生を一番大きく変えたのは、安城 JAC との出会いでした。小さい頃から足が速くもなかった僕を引き上げてくれた監督たちに本当に感謝しています。一番の思い出は全国大会の準決勝で記録更新し、決勝という最高の舞台で走れた感動と緊張感です。今でも忘れられません。

【選手 木村達太くん(錦町小)】きびしい練習ですが、はげまし合える仲間が、そばにいてくれたから頑張れました。県大会で優勝できたのも監督、ヘッドコーチ、そして、いつも支えてくれるお父さん・お母さんのおかげと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。次の目標は、全国大会で優勝することです。

【保護者 遠藤留美様】渾身の思いで選手と共に過ごした2年間。我が子の成長を実感した。努力、挫折、喜び、信頼の言葉を体で学んだ我が子は、一歩ずつ親離れをしている。私は今、子育ての嬉しさと寂しさを静かに受け止めている。陸上で培ったものをこれからの人生に活かし、歩んでいってくれることを願っている。

(藤井 英之・太田 貢)



ラダーを使って動きづくり

インターハイに出場した。

結果、男子八種競技で中村明彦選手が期待どりの高校新記録で優勝、女子では走高跳で河澄真子選手も優勝、市川華菜選手も100mで初の11秒台の快走で7位、200m4位とすばらしい結果を残してくれた。

過去、国体・日本ジュニアなど数々の優勝を誇る名門校であるが、唯一インターハイの優勝がなく、今年こそと狙って優勝の栄冠をつかみ取った選手に拍手を送りたい。

平成12年度の西村選手(安城学園高)以来、久しぶりに西三河陸上界に明るい話題をもたらしてくれた同校に感謝したい。

トラックシーズン後半には、大分国体に岡崎城西高より3名、三好・光ヶ丘女子高各1名の選手が出場する予定になっているので、愛知県の為にもさらなる活躍を期待したい。

中学生においては、全日中大会に男子5名・女子5名が参加し、全国小学生陸上では、安城ジュニア陸上クラブ(安城JAC)が400mRに男女とも参加。特に男子は県新記録で優勝、女子は準優勝で大活躍であった。

今年も過密な7月の競技日程ではあったが、県選手権・県中学通信・支部中学選手権と5日間連続で審判をしていただいた方には特に感謝します。(柴田 和秀)

## 東三河支部

「BEIZING 2008 観戦雑感」

8月14日(木)、北京は大粒の雨で私たち日本選手応援団の5名を迎えてくれました。さすがに広大な中国大陸、雨粒の大きさも降る量も半端でなく、怖さを感じるくらいでした。

北京市内は、15年前に訪れた時よりも道路が整備され、今も高層建築物ラッシュが続いており、すべてが当時とは雲泥の差の感がしました。

市内は日本で報道された通り、偶数・奇数で車両の通行が制限されており、大渋滞は全くない状態でした。自転車が隊列をなして道路を走行していたのは昔の話で、今は、日本車を始めとする乗用車とタクシー・トラックが道路を占領していました。これらに中国経済の発展と急成長の一端を見た思いでした。

競技会場へは、地下鉄・バス・タクシーでの交通手段があり、地下鉄はチケットがあれば無料で乗車できました。しかも24時間営業で便利なのですが、急造のため一部間に合わなかった区間もありました。「北京の壁」と同様に、見栄えさえよければ良しとするお国柄のようでした。

私たちの宿泊したホテルから試合会場まではタクシーで移動しましたが、どこの会場へも約60元(約1,000円)で行けたのには正直ビックリしました。ガソリン高騰の日本には羨ましい限りでした。

男子100mを観戦して、やはり世界は大きく動いているという感を強く持ちました。外国選手の圧倒的な速さを肌で感じると、とても太刀打ちできないと思ってしまいます。

しかし、2年前に当地区の短距離クリニックでお呼びした朝原選手の走りはクリーンで爽やかであり、日本陸上陣最高齢の100m選手として36歳になった今も走り続けるその情熱と身体への慈しみは、今後の日本(世界)のアスリート達に何かの指針を与えてくれているように思います。

もう一人の100m代表である塚原選手の走りは、確実に世界に近づく走りをしているように感じました。

偶然、声を掛けてくださった塚原選手のお父さんとは、一緒になって国旗を振り大声で声援をすることができました。こんな人との出会いがあるからこそ、オリンピック観戦は止められないんです!(夏目 輝久)

## 専門委員会報告

### 総務委員会

北京オリンピックが終了した。本県からは男子ハンマー投で金メダル2連覇を目指した室伏広治選手が5位、男子110mHの内藤真人選手と3000mSCの岩水嘉孝選手は、共に予選落ちで決勝進出はできなかった。室伏選手はメダルまであと80cm、本当に残念な結果だった。(その後ドーピング問題があり、銅メダルの可能性が出てきてはいるが)

日本選手は、男子4×100mRで銅メダルの快挙はあったが、オリンピックで自己記録を更新した選手が一人もいなかった。当然、日本新記録もなかった。何故なのか、どこに原因があったのか、日本陸連の究明に期待したい。

今年度、登録者数の陸連への報告も8回分が終了し、昨年同時期と比べ、全体で約1000名の増加であった。

9月からは毎週のように競技会が行なわれている。特に、11月からはロード・駅伝も加わり過密スケジュールとなる。11月2・3日には、県外からも大勢の参加が見込まれるレディースの全国大会を瑞穂で開催する。日本陸連主催でもあり失敗は許されない。総務委員会としても、女性委員会及び他の委員会と連携し、大会を成功させたい。

(稲垣 裕)

### 競技・情報処理委員会

11月3日開催の第26回レディース陸上競技大会に向けて、プログラム作成準備、競技運営計画を進めています。9月30日の参加申し込み締め切り後、番組編成・タイムテーブル決定のため、現在競技者データのコンピュータ入力作業と資格審査を進めています。事前の幅広い広報活動により、多数の参加が見込まれています。1000人を超える規模の大会になるものとして計画を進めています。競技会運営面では、好記録の出やすい、そして思い出の残る大会を目指して、万全の体制で運営ができるよう、十分に準備を整えて臨みますので、審判員の方々のご協力をお願いします。

本年度大型ビジョンを使用する大会としては、レディース大会以外にも11月1日の愛知県小学生選手権を予定しています。上半期に引き続きカメラの操作、画面のチェンジ等についても、熱心な審判員が支えて競技会を盛り上げていきます。今後の大会で、協力いただける審判員の方はお知らせください。

11月2日の全日本大学対校駅伝、愛知県高校駅伝、24日の2008名古屋ハーフマラソンの開催を皮切りに、ロードレース、駅伝競走シーズンに向かっていきます。

(外山 幸男)

### 審判委員会

平成20年度陸上競技会も、トラック&フィールドは残すところわずかとなりました。審判の方々にご協力いただき、無事進めることができました。

11月24日の名古屋ハーフマラソンをはじめとして駅伝、

## 名岐駅伝いまむかし⑥

第8回大会(昭和13年) - 「一般」(9)・学生(14) 参加 -  
名古屋走友俱と東邦商業が新記録で優勝

日華事変下初の大会でもあり、2/9の新聞には「鉄脚の精鋭が示す銃後若人の士気、参加申し込み32組(番外2含む)<sup>\*</sup>に及ぶ」の見出しで参加チームと選手の名前を掲載している。

大会当日は、三河からの初参加である豊橋連合青年を含む23チーム(番外除く)が快晴に恵まれた伊吹路で熱戦を繰り上げた。レースは、1区から岐阜スター俱がリードしたが、3区で名走友Aの松山が区間新記録の好走を見せて激しく追い上げ、4区の中継所でリレーと同時に首位に立つ。しばらく両者の首位争いが展開されたが、スター俱の岩田が足の爪をはがしていることもあって、名走友A(近藤、村瀬、松山、青木)が5分21秒の差をつけ、名走友時代の幕開けにふさわしい4時間35分59秒の大会新記録でゴール。学生では、1区から首位に立った東邦商(中島、玉置、李、秋本)が、4時間54分03秒で初優勝。今年こそはと期待された中津商Aの2区霞上が両部を通じての区間新記録を出したものの1区の出遅れもあり、優勝を逃した。

なお、初陣の豊橋連合青年は4区中継所まで3位と健闘し4位でゴールしたが、第4走者の走路違反で失格となる。また、昨年、最下位ながら最後まで健闘した「一宮第三青年」は、今回も1位と2時間以上も遅れながら完走を果たす。

2位以下の結果は次のようである。(豊橋連合青年、東海中は失格)

(一般)：②岐阜卓竹スター俱 4.41.20 ③瀬戸市陶都俱 4.49.08 ④日本車輛 ⑤名古屋走友俱 B ⑥新愛知無名俱 ⑦昭和毛糸一宮 ⑧一宮第三青年

(学生)：②中津商 A 4.58.44 ③中津商 B 4.59.55 ④名古屋第三商 ⑤名古屋商 ⑥中京商 ⑦愛知一師 A ⑧滝実業 ⑨金城商 ⑩明倫中 ⑪愛知國學院 ⑫明倫中 ⑬愛知一師 B

\*1 番外とはいえ、日比野寛指導の会である小学校学童で編成された「せんくれひと会」2チームが、一般・学生と一緒に同一のコース・距離を走るのだから、今では考えられないことである。彼らのレースぶりははっきりしないが「2名が第3区を完走して気を吐いた。」とある。

第9回大会(昭和14年) - 「一般」(10)・「学生」(13) 参加 -  
名古屋走友俱、東邦商業ともに連覇

23チームの参加選手は、出発前に「護国の英霊を祭る第三師団官祭招魂社」に参拝した後、日比野審判長の合図でスタート。雪解けの道路が一部にあったものの、日本晴れて風もなく全般的に好コンディション下で接戦が展開された。

レースは、第1区の枇杷島街道を新川橋に抜ける頃には早くも区間新記録を出した名走友俱(青木、村瀬、水野、松山)と東邦商(中島、玉置、林、吉田)が3位以下の集団を300メートルも引き離し、ともにゴールまで各部の首位をキープし、4時間42分58秒と5時間0分20秒の記録で連覇を果たしたが、大会役員(総務委員)で新愛知新聞記者の田舎片は、「名岐駅伝追走記」の中で<心せよ! 応援団>という見出しで、沿道の熱心な声援ぶりに加えて、「応援自転車隊の選手自身の走力を無視した過度の応援が、結果的に<最良の引き倒し>となり選手が自滅している状況を警告している。

この大会で初参加ながら3位に入賞した西尾蚕糸で3区を走った4年生の野澤<sup>\*2, \*3</sup>は「雪解けの砂利道、お粗末なマラソン足袋の底は忽ち破れて小石が中に入り、踵には大きな血豆が出来たが、先生の<立ち止まってはいかん。歩いてはいかんぞ。どんなことがあっても走り抜いて襷を渡すんだ。>の鉄則を思い出して走った。帰路に安城市内でニュース放送で一言聞いた「西尾蚕糸第三位」…。西尾駅頭には渡辺校長他数名の先生方、寄宿舎の生徒、大勢の町の人が、まるで凱旋兵士の出迎えのように歓声を上げて出迎えてくださった、感激…」と、当時の様子を述懐している(愛知陸協「西三河支部の歩み一わが青春! 西尾蚕糸・駅伝の思い出」より)。

2位以下の結果は次のようである(大曾根青年、岐阜二中、金城商は失格)。

(一般)：②愛知時計 4.58.45 ③日本車輛 4.59.57 ④豊橋青年 ⑤名走友俱 ⑥一宮昭和毛糸 ⑦中津青年 ⑧川瀬書店 ⑨桑名青年  
(学生)：②中津商 A 5.06.58 ③西尾蚕糸 5.10.18 ④名古屋商 ⑤愛知一師 ⑥中京商 ⑦名古屋第三商 ⑧中津商 B ⑨東海中

⑩愛知國學院 ⑪明倫中

\*2 野澤正治：1923年生、昭和17年岡崎師範卒、国民学校教諭、兵役復員後復職し、昭和58年平坂中学校長で退職。第1回国体に出場(1500)。愛知マスターズ陸上競技連盟の設立に尽力。現在も毎日市グラウンドでランニングを続けながら、各地のマスターズ陸上に積極的に参加。「何歳まで走れるか挑戦すること」を生き甲斐としている。

注：今回より参考・引用文献は省略し、適宜まとめて記す。



(西垣 完彦)

マラソンとロードレースが始まります。各大会には多くの審判員が必要となりますので、ご協力をお願いします。

第2回審判伝達講習会を、10月13日(月・祝)に日本ガイシホールで行ないます。1人でも多くの教え子、同僚などに勧めていただき、若い力を育てていきたいと思ひます。



競歩審判講習会の一コマ

今年度も審判実技講習会を行ないます。昨年度は、左記の写真のように競歩審判の講習会を行いました。競歩審判講習会や情報処理講習会、写真判定講習会を予定しています。詳しいことが決まりましたら、競技会等でお知らせします。特に若い審判の方の出席を望んでいます。

最後に、審判調査はがきを必ず出すように重ねてお願いします。(榊原 茂)

## 選手強化委員会

平成20年度大分国民体育大会陸上競技愛知県代表選手

団(表参照)が、理事会で承認され決定しました。国体選手決定の概略を報告させていただきます。

成年選手は入賞が確実にされる日本選手権入賞者を選考し、リレー要員を県選手権の結果で選考しました。

昨年度まで愛知県登録であった北京オリンピック代表の岩水選手(3000m障害)は所属の変更により千葉県登録ですが、ふるさと選手として出場します。オリンピック選手の国体出場は県選手団の大きな励みになります。杉本選手(10000mW)は、大阪世界選手権代表選手です。有木選手(棒高跳)は、昨年国体2位です。県選手権で200m優勝の岡本選手(中央大)と100m優勝の田中選手(トヨタ自)は、リレーでの活躍が期待できます。

日本選手権決勝進出が常連となっている山崎選手(さかえクリニック)は、今年も女子主将として出場します。全日本インカレ優勝経験を持つ女子走高跳に出場の松本選手は、教員枠選手であります。

今年度の全国高校総体での本県選手の活躍は目ざましく、少年A・共通の選手は総体の優勝者、上位入賞者を優先して選出。準決勝進出者、ランキング上位者から国体時に入賞できる可能性の高い選手及びリレー要員を決定しました。

少年Bの選手については、指定の選考会の結果を過去の国体入賞記録と照会してリレー要員を含め決定しました。

全ての選手が入賞できるとの判断で選考しており、今年も陸上愛知の力を示すことができる選手団であります。これらの選手の愛知代表としてのここまでの成長は、多くの関係者の指導の賜物であることを選手、コーチ共々認識して競技してきますのでご声援よろしくお願ひします。

(北村 肇)

### 施設・用器具委員会

公認陸上競技会開催の6条件の一つとして、公認陸上競技場(長距離競走路ならび競歩路を含む)と検定用器具があります。ルールブックP.79~120の「競技用器具検定規程」「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」「公認陸上競技場および長距離競走路ならび競歩路規程」及び細則にしたがって検定が行なわれ、条件に合格したものが公認陸上競技場になります。

平成20年度 第63回大分国体愛知陸上競技選手団一覧表

\*リレー要員

種別	種目	氏名	所属	選考実績
成年男子	200m*	岡本 勝太	中央大	県選手権優勝・日本ランク10位
	リレー*	田中 星二	トヨタ自動車	県選手権優勝(100m)・日本選手権出場
	3000m 障害	岩水 嘉孝	富士通	北京オリンピック日本代表・ふるさと選手
	10000w	杉本 明洋	ALSOK	大阪世界選手権日本代表
	棒高跳	有木 健人	ハート&ハート	日本選手権4位
成年女子	200m*	長崎 由佳	中京大	河原崎可央里故障のため選手変更
	100H*	山崎由加里	さかえクリニック	県選手権優勝(100m)・日本選手権決勝進出
	走高跳	松本明日美	名東高教	教員枠/1m72
少年A男子	100m*	鈴木 大介	名古屋大谷高	県選手権優勝(400m) 高校ランク3位/全国総体3位(200m)
	400m*			
	400H*	山内 博貴	中京大中京高	全国高校総体6位/高校ランク5位
	走幅跳	中村 明彦	岡崎城西高	全国高校総体優勝・日本高校記録樹立(8種競技)
	三段跳*	鈴木 雄貴	中京大中京高	全国高校総体6位
ハンマー投	津田 直紀	名古屋高	全国高校総体出場	
少年A女子	100m*	今井沙緒里	至学館高	全国高校総体優勝(200m)/100m 高校ランク9位
	リレー*	市川 華菜	岡崎城西高	全国高校総体7位(100m)/高校ランク8位
	400m*	水口 小夜	愛知淑徳高	全国高校総体2位/高校ランク3位
	100H*	中川 涼子	中京大中京高	全国高校総体準決勝
ハンマー投	赤嶺 愛	起工高	高校ランク3位	
少年B男子	100m*	浅野 伸明	栄徳高	高校1年ランク3位/10.78
	3000m	小島 秀斗	豊川工高	高校1年ランク6位/8.36.79
	走幅跳*	酒谷 昇吾	名古屋高	6.52/少年Bリレー要員
少年B女子	100m*	山田 恵里	長良中	中学ランク10位/12.28
	100YH*	飯田 美咲	弥富中	全国中学8位/県中学記録樹立
	砲丸投	近田 茜	名城大附高	高校1年ランク5位/12.01
少年男子共通	800m	杉田 祐平	中部第一高	全国高校総体準決勝/高校ランク9位
	5000w	金田 淳志	豊川工高	全国高校総体11位/高校ランク9位
	走高跳	中村 明彦	岡崎城西	高校総体9位/高校ランク4位
	棒高跳	甲村 佳樹	三好高	高校総体出場
少年女子共通	走高跳	河澄 真子	岡崎城西高	高校総体優勝/高校ランク1位
	円盤投	高木 美波	光ヶ丘女高	高校総体出場
スタッフ	団長	北村 肇	中京大中京高教	
	監督	森谷 晴彦	名古屋高教	
	監督	明星 光信	三好高教	
	中長距離コーチ	渡邊 正昭	豊川工高教	
	障害コーチ	鈴木 潔	武豊中教	
	競歩コーチ	斉藤 嘉夫	名鉄	
	投擲コーチ	山本 雅司	豊田大谷高教	
	女性部会担当	佐藤 悦子	時習館高教	
	マネージャー	伊藤 明久	愛知商高教	
	マネージャー	森浦 朗	栄徳高教	
トレーナー	谷口 賢一	T・S・S・T・T		
トレーナー	矢嶋 友美	T・S・S・T・T		



7/12 国体少年B選考・ジュニア記録会(知多)



7/19 県選手権兼国体選考(瑞穂)

【公認競技場・長距離競走路等の誕生までの流れ】

〈例〉第一種瑞穂公園陸上競技場公認継続について

- 2007.2 事前指導（青木検定員）と愛知陸協の要望
- 2007.11 瑞穂→スポーツ振興課→財政課に予算要求  
↓
- 2008.6 予算内定決定
- 2008.9 用器具関係打合せ（スポーツ振興課）  
↓
- 2008.10 入札施工業者決定  
↓
- 2008.12 日本陸連へ公認申請書提出（陸協会会長印必要）  
↓
- 2009.1 検定員・技術役員派遣者決定  
↓
- 2009.3 検定実施報告書提出  
↓
- 2009.3 本部施設用器具委員会審査  
↓
- 2009.3 合格通知公認料請求書  
↓
- 2009.4 公認料支払い後公認証書が送られる

【2007年度の検定】 ○検定合格

- 蒲郡陸上競技場（8.15～16） 3種 青木・平川
- 岐阜経済大学陸上競技場（11.25） 4種 青木（近藤・石原）
- 梅村学園室内棒高跳（2008.3.1） 青木・篠原

○瑞穂北陸上競技場（2008.3.2） 3種 青木・平川

【2008年度の検定】

- 中京女子大学陸上競技場（2008.4.19）4種 青木・平川・桑原
- 中京大学梅村（陸）付帯ハンマー投てき場（2008.7.27）青木・平川  
豊橋市営（付設）マラソンコース（2009.3 予定）  
瑞穂公園陸上競技場（2009.3 予定）
- \* 県一宮総合運動場（2008.7.1～2009.6.30）は、現在公認廃止届が日本陸連に提出されている。現在全面改修工事中で、新規第3種公認陸上競技場として誕生（2009.3）の予定である。現場での詳細な打合せが今後求められる。

【今後の検討課題】

- ① ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場に対し、青木が事前指導。（6.14）  
・インフィールド内芝生が高い等
- ② 岡崎陸上競技場に対し、青木が事前指導。（8.1）  
・第3種の継続が希望されている（全天候舗装化？）等
- ③ 地元の強い要望である、豊川陸上競技場の第3種公認新設（全天候舗装化）が市長のマニフェストによって2010年をめざして計画設計に入った。市教委から青木が相談を受け、指導に入った。（9.1）
- ④ 2009年3月に行なわれる瑞穂公園陸上競技場の検定の後に、アジア選手権、日本選手権開催に向けての誘致がスタートする。そのため多くの課題を解決する努力が必要となってくる。

（青木 実）

ホーぷさん⑤

山田涼馬君 AC一宮（浅井中3年）



力走する山田君

一見、温厚でやさしい笑顔。そんな山田涼馬君ではあるが、勝負に対しては、激しい闘志と気性をあわせ持っている。中学1年の時、県総体の1年1500m決勝で、スタートと同時に接触して右スパイクが半分脱げ、ラストスタートの第4コーナーでも外に押し出されてスパイクが完全に脱げてしまい、最後尾でゴール。山田君は手に持ったスパイクを地面にたたきつけてくやしかった。

もともと小学生時代は、浅井中少年野球スポーツ少年団の4番でピッチャー。一宮市小学校陸上選手権に学校代表として100mに出場して2位に入賞し、AC一宮（当時はJAC一宮）から声がかかった。本人は陸上競技に興味をもっていたものの、最初は少年野球が忙しく、陸上競技を断っていた。しかしボール投にも才能があり、「ひとつ大会で投げてみないか」と再度誘いがあり、大会に出場するにいたった。小学6年ボール投では全国大会に出場し、9位で惜しくも入賞を逃したが、国立競技場で競技をした緊張感が忘れられない思い出となった。

浅井中学校に進んでからも野球部で1番とピッチャー、チームにとってはなくてはならない存在。陸上競技と二足のわらじを続けることになった。

山田君がより熱心に陸上競技に取り組むようになったのは、AC一宮、すてきな仲間やよきライバルと出会ったことにある。1年先輩の小島秀斗君（豊川工業高）は後輩のめんどろをよく見てくれ、1500mの記録をねらっていたころには、練習や試合で山田君たち後輩を引っ張り、ペースをつかませてくれていた。同学年では、短距離の掛村将之君（千秋中）や加藤修君（甚目寺中、全中200m出場）と出会い、100mの記録を競い合ったりリレーを組んだりすることができた。そしてよき仲間であり最大のライバルが、1500mの石黒大介君（今伊勢中）である。彼とは小学校時代のロードレース大会以来の競走相手で、二人の間では名勝負が何度も繰り広げられた。中学1年生までは山田君の方が一歩リードしていたが、冬のロードレース大会のころになると石黒君がぐんぐん頭角を現し、山田君が負けることも多くなった。この時期に山田君は400mに興味を持ち始め、中学2年生の4月に52.80をたたき出し、大きな自信となり現在に至っている。その後も二人はよきライバルとして、試合での成績を一喜一憂しあった。中学3年生の全中（新潟）では、山田君が400mで第4位、石黒君が1500mで第5位の好成績をあげることができ、仲間全員で喜ぶことができた。

山田君の夢は、高校や大学に進んで陸上競技を続けることだそうである。何か特別のことではなく、日々の生活を大切にしている山田君らしい言葉である。今後も、これまで出会った先輩や仲間を大切に、共に大きく成長してほしいと願っている。

山田君との一問一答

問：好きなことは？ 山田：ピアノを弾くこと。

問：一番気持ちがいいことは？ 山田：400mでイメージ通りのレースができること。

問：一番くやしかったことは？ 山田：1年生の1500mの県大会でどべだったこと。

問：こだわっていることは？ 山田：試合前のジンス。前日にお好み焼きを食べる。前日に何度もイメージトレーニングをする。当日の朝は、アクネ洗顔という石鹸でできまり。

問：大切にしていきたいものは？ 山田：AC一宮で出会った仲間。（西村 嘉二）



左から、石黒君、山田君、小島君

## 記録委員会

日本陸連への記録公認申請は、各支部記録委員長をはじめ各大会の記録担当委員の協力で申請期間に遅れることなくできています。

4月、中村明彦選手（岡崎城西）の八種競技日本高校新記録から'08年度のトラックシーズンに入り、県内で10月までに約110の競技会が予定されています。8月までに80競技会を終わり、今は秋の新人大会、各支部選手権大会を中心とした競技会の頃です。

今年は、例年になく新記録が樹立されています。県新2種目、県高校新5種目（延べ7）、県中学新4種目（延べ5）と9種目で樹立されています。特に八種競技の中村選手は、三度日本高校新記録を樹立しています。また新記録ではありませんが、西山令選手（岡崎・葵中①）の800m、2分00秒92、の年齢別日本歴代最高。1年生での全日本中学選手権出場は、大会史上初です。2年生の鈴木祐太選手（本郷）・森佑紀那選手（長良）等、次代を担う競技者が多く、今後の活躍が期待されています。

前号（第10号）以降に確認した新記録

県新記録・県高校新記録

4×400mR 3.45.26 愛知淑徳高  
（福島 優・小林愛実・竹下晴子・水口小夜）

第61回全国高校総体（埼玉・熊谷）8月2日

日本高校新記録・県高校新記録

八種競技 5900点 中村明彦（岡崎城西）  
<11.08（+0.2）、6.74（-0.2）、10.55、49.25：  
15.30（+0.8）、43.09、2.01、4.18.47>

第61回全国高校総体（埼玉・熊谷）7月29・30日

県高校新記録

200m 21.15 鈴木大介（名古屋大谷）  
第68回愛知陸上競技選手権大会（瑞穂）7月19日  
3000m 8.12.52 田中秀幸（豊川）  
平成20年度静岡長距離強化記録会（小笠山）6月28日  
3000m 9.13.41 二宮悠希乃（豊川）

平成20年度日体大長距離競技会（日体大）4月20日

県中学新記録

砲丸投 14.56 清水大樹（味美）  
第30回東海中学校総体（草薙）8月9日  
100mH 14.44 飯田美咲（弥富）  
第62回愛知県中学校総体（瑞穂）7月29日  
四種競技 2612点 平手佑佳（知多八幡）

<15.37（-0.7）、1.54、8.54、26.91（-1.5）>

第29回愛知混成競技大会（瑞穂）7月6日

棒高跳 2.40 毛利綾華（千種）  
第68回愛知陸上競技選手権大会（瑞穂）7月19日  
棒高跳 2.50 松下琴子（千種）

2008年度日本棒高跳クラブ夏季研修（中京大）8月7日  
（岡田 武彦）

搜しています。

下記の愛知陸協「要覧」を搜しています。提供くださる方、連絡をお願いいたします。

昭和55年度から58年度の4年分

連絡先 記録委員会 岡田武彦  
携帯電話 090-3854-8720

## 女性委員会

平成20年度全国女性委員会議報告

日本陸連女性委員会主催の会議が、7月12・13日（土・日）に開催されました。例年東京で開催されていましたが、本年度は大阪陸協の協力により、大阪ワールドトレードセンタービル23階会議室で行われました。すばらしいロケーションの中での会議となりました。参加者は、日本陸連女性委員会のメンバーと各都道府県陸協の女性代表の約60名でした。会議の内容は下記のとおりです。

会議内容

<第1日目>

●挨拶 吉見正憲日本陸連理事

●挨拶・報告 山崎壽美子日本陸連女性委員長

資料に沿って、委員会の活動状況、平成20年度の活動計画、組織メンバー、第25回レディース陸上競技大会などの報告がされた。

●報告 竹林幸江（広島陸協）

「第25回レディース陸上競技大会報告」

2年連続しての開催で、前回の反省点をふまえてスムーズな運営ができた。また大会をとおして社会貢献をしたいと考え、乳ガン撲滅のピンクリボンキャンペーン（ピンクリボンをつけて募金）を行った。参加者数は延べ682名、女性審判員数97名（全体の48.7%）であった。

●報告 西盛康子（兵庫陸協）

「女子普及種目講習会・記録会を開催して」

3000mSC、棒高跳、ハンマー投、競歩の講習会・記録会の他に5000m、三段跳、砲丸投の記録会を行なった。準備や参加競技者・審判員・講師の確保が大変であったが、参加者の感想はとても好評であり、私たちにとっても良い経験になった。

●報告 赤峰フミ子・木崎真琴（大阪陸協）

「大阪世界陸上競技大会を経験して」

TIC（テクニカル・インフォメーションセンター）とアナウンサーの仕事内容を紹介し、失敗やトラブルから学んだことが報告された。

●報告 山田ゆかり（早稲田大学スポーツ科学学術院非常勤講師）

「女性競技者の競技環境—ハラスメントを考える—」

陸上をはじめ、あらゆるスポーツの指導現場でおこっているパワーハラスメントの実態を多数報告。信じがたいことだが、実際におこっていることであり、裁判になっているケースもいくつかある。指導者の資質の問題であり、コーチ資格取得の講習に入れるなど検討してほしい。

●地域別情報交換 司会 中村早由里（三重陸協）

全国を8地域に別けて実施。東海地域は、静岡・愛知・三重・岐阜・長野の出席者によって行なう。

各県の現状を報告。11月3日開催の第26回レディース陸上競技大会の準備状況報告と協力を依頼。8月30日（土）に東海女性委員長会議を静岡県草薙で開催。

<第2日目>

●講演 岩崎由純（日本体育協会公認トレーナー）

「怪我の少ない体づくり、トレーナーの立場から見た現状」

実際におこった怪我を例にあげ、競技の特性、施設、設備、用具、天候などあらゆる面からの安全管理を考える。最近特に言われているコア（体幹）のトレーニング方法を紹介。イメージトレーニングの方法も紹介。



## 学校紹介① 豊川高校 創立 80 周年を機に飛躍を誓う



北野孝英先生

創立 80 周年の記念事業としてグラウンドが新装され、一段の飛躍を期す豊川高校陸上部を訪ね、中長距離のことを中心に北野先生からお話をお聞きしました。

豊川高校では、学校として硬式野球、駅伝、水泳の 3 種目に特に力を入れています。その中で、グラウンドの改修が 80 周年の記念事業として取り上げられました。昨年に新装になったグラウンドは、6 レーンの全天候型 400m トラック。フィールド部分はサッカー、ラグビーと共用で人工芝が敷きつめてあります。第 1 コーナーから第 2 コーナーにかけてのフィールド部分に砂場と走高跳、棒高跳のピットがあり、跳躍の部員たちも全天候型のグラウンドで練習ができるようになっています。また、グラウンドに併設されている建物の 1 階部分には約 70m の全天候型走路が 2 レーンあり、雨天にも対応できるようになっています。またナイター照明の設備もあり、冬場の練習に力を発揮しています。



トラックに併設されたスロープ

いくつもの利点を持つグラウンドですが、一番の特長は、何と言ってもトラックの周りに併設されている 500m の外周コースにあります。ホームストレートの部分は 100m ほどが全天候型で、残りの部分は土のコースですが、ここに一番の特長があるのです。第 1 コーナーから第 3 コーナーにかけて 3 か所の起伏が設けてあり、一番長い坂は 70m ほどもあります。先生の話では、外周を走っていると、この坂がじわじわと効いてくるのだそうです。知らず知らずのうちに筋力、持久力が鍛えられているのでしょう。こうした利点があるからか、近隣の中学校や高校からの利用の申し込みがあり、現在では 4 校が時折グラウンドを利用しています。



昨年の都大路での女子の活躍が記憶に新しい豊川高校ですが、グラウンドの利便性だけで強くなったというわけではありません。全天候型のトラックは、脚への負担を考えて週に 2 日ほどの使用に限っているのです。躍進のかけには、まず継続性があります。その筆頭が、7 時 10 分から毎日の朝練習です。基本的には 8km を走り、午後の練習と合わせて 20km になるように練習を組んでいます。次には練習コース、練習内容の開拓といった工夫が挙げられます。外周道路では 1 周 7km の間に信号が 2 つだけというコースを見つたり、学校の北側の麓の公園でクロスカントリーの練習コースを見いだしたりといった工夫です。そして、夏休みの合宿がもう一つの大きな力となっています。今

年の男子は、6 泊 7 日、5 泊 6 日、6 泊 7 日の 3 回、更に選抜された部員だけでもう 1 回行ないました。先生の話では、女子はもっとやっていますとのことでした。

先生からは 3 つのことをお聞きしましたが、練習を見ている中で、もう一つ大きな力が働いているように思われました。それは、部員の自主性です。共通のウォーミングアップのあと、各自に任せられた練習内容になっている部分があったのです。先生とコミュニケーションをとりながら、アドバイスを受けている姿が印象的でした。北野先生が赴任されてから男子は県の高校駅伝で豊川工業高校との差を 15 分→10 分→3 分と縮めてきていますが、このかけには、部員の自主性が大きな力を発揮しているように思われました。



練習する部員

昨年の女子に続いて男子も都大路へとアベック出場を目標に掲げる豊川高校は、昨年にも増して注目的になりそうです。

(文責・聞き手 大西 敏功)

[北野先生のプロフィール] 1500m 国体優勝、日本選手権 4 位、1993 年度全国ランキング 1 位、愛知県記録保持者 (3.42.03)

### ●第 26 回レディース陸上競技大会について 脇田千鶴 (愛知陸協)

東海の各陸協の協力をいただいて開催する。また、この大会で乳ガン撲滅のピンクリボンキャンペーンを行なう。大会前日には、競歩・棒高跳・ハンマー投・3000mSC のクリニックを行なう。中でもハンマー投講師は、室伏重信氏・室伏由佳選手をお願いをした。多数参加していただきたい。

### 第 5 回愛知レディース陸上競技大会報告



スウェーデンリレーの表彰

7 月 6 日 (日)、県混成競技大会・県選手権リレーの 2 日目と同時開催しました。当日の天候は曇り、気温 33 度前後、湿度 65% で午後から少し風が出ましたが、まずまずのコンディションでした。参加者数は、中学 219 名、高校・一般 199 名、共通リレーは 25 チームと、全体参加者が昨年より大幅に増加しました。このことは、今年の 11 月 3 日に第 26 回レディース陸上競技大会 (全国大会) を開催することが意識された

ためと思われれます。

競技は、中学の 100mH・走幅跳、高校・一般の走幅跳・砲丸投・円盤投・やり投、共通リレーの全 7 種目で大会新記録が生まれ、大変盛り上がりました。また、優勝者には、Milky Way (中区栄の生花店) より提供された花束が贈られ大変好評でした。

審判には、約 60 名の女性が参加しました。第 26 回レディース陸上競技大会の開催を控えて、各部署の男性審判員の皆さんより丁寧で厳しい指導をいただきました。全国大会に向けて、課題や問題点を自覚し修正することができました。

本大会は参加者数が増加し、準備やタイムテーブルの調整が大変でした。今後はもう少し余裕を持った大会運営を目指したいと思います。また、愛知レディース陸上競技大会だけの単独開催を検討する必要があると感じました。

### 第 26 回レディース陸上競技大会の準備作業

実行委員会名	作業内容
競技・情報	大会要項・申込書・宿泊案内・ゆうちょ銀行払込取扱票など ●各 2,000 部印刷 ●各都道府県陸協・東海地域の中学、高校、大学、一般の登録団体・愛知県内の小学生チームへ配布完了

競技・情報	プログラム掲載用 挨拶文	●日本陸連会長・愛知県知事・ 名古屋市長・中日新聞社会長・ 愛知陸協会長へ出筆依頼 ●提出原稿を印刷依頼済み
	プログラム協賛広告	●全61社原稿収集 ●提出原稿を印刷依頼済み
	大会参加申込受付	9月10日(水)～9月30日(火)
	競技者のデータ入力	9月15日(月)～
	資格審査①	10月1日(水)
	資格審査②	10月7日(火)タイムテーブル確定予定
	ナンバーカード	10月10日(金)発注 10月20日(月)納品
	プログラム原稿	10月15日(水)提出締切・印刷 依頼予定
	プログラム校正	10月17日(金)・10月20日(月)
	プログラム納品	10月27日(月)
	競技者配付物確認	10月31日(金)
	クリニックの準備・打合せ	11月1日(土)
総務	チーム受付・クリニック 記録会のプログラム作成	11月2日(日)
	ポスター	●1,200部印刷 ●各都道府県陸協・県内の市町 村・各登録団体・報道関係 (テレビ局・新聞社)・JR・ 私鉄などへ配布済み
	賞状	●350枚印刷予定 ●デザイン決定、印刷予約済み
	メダル	●110個作成予定 ●デザイン決定、作成依頼済み
総務	副賞	タオル・ポーチほか検討中
	宿泊先・懇親会会場	確保済み
記録	IDカード	種別・デザイン決定 印刷予約済み
	大会記録など	訂正・陸連了解済み
施設用器具	使用器具の調整	瑞穂競技場、ニシ・スポーツと調整中
	役員編成	完成済み
審判	ウィンドブレーカー	審判用・スターター用などデザ イン決定、発注済み
	プログラム広告協賛金	全61社 約200万円

(脇田 千鶴)

## 関係団体報告

### 小学生友の会

#### 1 競技会の成績 (主な成績のみ)

(1) 第25回 愛知県小学生リレー競走大会 7月5日(土)  
瑞穂陸上競技場

##### 新記録樹立者

友の会新 4×100mR 49.95 安城ジュニア陸上クラブ  
大会新 川端健太 木村遼太 丸山侑輝 遠藤侑汰  
友の会新 ソフトボール投 74.02 竹内元博 鬼南クラブ  
大会新  
大会新 100m 12.64 木村遼太 安城 JAC  
大会新 80mH 12.72 岩崎 聖 なごや陸上クラブ  
大会新 ソフトボール投 66.69 荻野 佑 新田 TFC

(2) “日清食品カップ” 第24回全国小学生陸上競技交流大会  
8月30日(土) 東京 国立霞ヶ丘競技場

##### 入賞者

男子 4×100mR 1位 49.66 安城ジュニア陸上クラブ  
(愛知県新記録)  
遠藤侑汰 木村遼太 川端健太 川島拓也  
女子 4×100mR 3位 53.02 安城ジュニア陸上クラブ  
勝田 萌 河合詩菜 内藤 彩 朝倉由麻  
男子 80mH 4位 12.47 岩崎 聖 なごや陸上クラブ

男子 ソフトボール投 2位 78.75 竹内元博 鬼南クラブ  
(愛知県新記録)

(3) 第25回 東海小学生リレー競走大会 8月31日(日)  
静岡 草薙総合運動場 陸上競技場

##### 入賞チーム

混合 4×100mR 2位 56.09 安城ジュニア陸上クラブ  
樋口 井上 鳥居 中津  
3位 56.53 田原陸上クラブ  
柴田 牧野 畠山 武田  
女子 4×100mR 2位 54.37 田原陸上クラブ  
眞田 佐藤 中尾 鶴崎  
6位 56.11 岡崎 JAC  
藤井 河野 森田 宮崎  
7位 56.31 豊橋陸上クラブ  
森本 渡辺 近藤 吉牟田  
男子 4×100mR 1位 51.45 田原陸上クラブ  
河邊 富田 山田 渡会  
3位 52.54 作野 AC  
伊藤 石樽 安藤 村瀬  
5位 54.55 AC一宮  
小島 伊藤 横井 河村  
(村上 叡治)

## 中小体連

### 次代を担うジュニア選手の躍進

全日本中学校陸上競技選手権、東海総体、県総体の3大会を通じて、今夏、特に際だったジュニア選手たちの活躍を列記してみたいと思います。

<全日本中学校陸上競技選手権：8/19～21

新潟；ビックスワン 8位入賞>

石黒 大介 (今伊勢) 男子 1500m ⑤4.05.34  
(予選；4.03.47 県中学新)  
山田 涼馬 (浅井) 男子 400m ④ 50.15  
(準決勝；49.66)  
岡田 壮平 (東港) 男子 400m ⑦ 50.64  
(準決勝；49.80)  
糟谷 隆明 (守山西) 男子 走高跳 ② 1.90  
安藤 良介 (守山西) 男子 走高跳 ⑦ 1.87  
清水 大樹 (味美) 男子 砲丸投 ⑧ 14.54  
(予選；14.63 県中学新)  
橋本 佑輝 (千種) 男子 棒高跳 ⑥ 4.20  
名古屋東海 (高橋・笹田・近藤・田中) 男子 4×100mR  
⑥ 44.50 (予選；43.77)  
森 佑紀那 (長良) 女子 100m ⑧ 12.54  
(準決勝；12.33)  
飯田 美咲 (弥富) 女子 100mH ⑧ 14.86  
(準決勝；14.44 県中学タイ)  
長良 (安井・山田・松井・森) 女子 4×100mR 予選  
49.05 県中学新

<東海総体：8/9 静岡；草薙 第1位>

鈴木 祐太 (本郷) 男子 2年 100m 11.31  
岡田 壮平 (東港) 男子 400m 49.60  
西山 令 (葵) 男子 1年 1500m 4.27.82  
清水 大樹 (味美) 男子 砲丸投 14.56  
名古屋東海 (高橋・笹田・近藤・田中)  
男子 4×100mR 43.91 (大会新)  
山田 恵里 (長良) 女子 3年 100m 12.57

中根 実来 (平坂)	女子 1500m	4.37.54 (大会新)
北島 茉璃 (高蔵寺)	女子走高跳	1.63
長良 (安井・山田・松井・森)	女子 4×100mR	49.45
<県総体: 7/29 瑞穂 県中学新記録・大会新記録>		
鈴木 祐太 (本郷)	男子 2年 100m	11.15
笹田 康弘 (東海)	男子 3年 100m	11.01
西山 令 (葵)	男子 1年 1500m	4.23.73
清水 大樹 (味美)	男子 砲丸投	14.31 (県中学新)
森 佑紀那 (長良)	女子 2年 100m	12.26
山田 恵里 (長良)	女子 3年 100m	12.36
飯田 美咲 (弥富)	女子 100mH	14.44 (県中学新)
杵掛 (久野・成田・山本・森)		

女子 低学年4×100mR 51.79

素晴らしい記録ばかりです。例年に比べ、ジュニア選手の活躍が大変に目立った夏でした。1年生にもかかわらず全日中に参加した 西山令 (葵)、北野有紀 (淑徳) を含め、今後の活躍が大いに楽しみです。

また、10月24日～26日に行われるジュニアオリンピック (横浜) には、県ジュニアオリンピック (8/31) の上位入賞者によって県選抜リレーチームを結成します。陸協からの様々な支援のもと、「陸上王国 愛知 復活!!」に向け、関係者悲願の男・女アベック優勝を目指します。今後ご指導、ご支援をよろしく願います。

(鈴木 秀樹)

## 高体連

### 全国高校総体報告

7月29日 (火) から8月2日 (土) までの5日間、埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において、第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されました。

昨年日本一の気温 (40.9℃) を記録し、市のスローガンも「暑いぜ熊谷」ということで、コンディションが大変心配されましたが、意外にというか、覚悟して乗り込んだ割には拍子抜けのするほど過ごしやすい天気が続き、選手にとっては、ほぼ絶好の条件で競技が行なわれました。

その中で、125名もの大人数を送り込んだ愛知県選手団はよく頑張り、男女合わせて優勝3種目を含む、計18種目の選手が入賞しました。特に、2日目 (7月30日) には、岡崎城西の中村明彦選手が男子八種競技で、今期自身が2度記録した全国高校記録をさらに更新する記録 (5900点) で優勝。その優勝を決めた最後の1500mは、さながらウイニングランをしているかのような圧勝でした。そのゴールを見届けた直後、今度は同じ岡崎城西の河澄真子選手が女子走高跳で勝利を決める1m74を跳ぶという劇的で感動的なシーンが見られました。また、市川華葉選手も女子100m (7位) と200m (4位) の2種目で入賞するという、岡崎城西にとって忘れられない大会になったと思います。

そして大会4日目 (8月1日) には、至学館の今井沙緒里選手が女子200mで優勝 (24秒35) しました。彼女は2日目の100m準決勝で、1/100秒差で決勝進出を逃し、非常に悔しい思いをしたことと思いますが、200mの決勝ではその鬱憤を晴らすごとく、スタートして20m過ぎで勝利を確信できたほどの圧勝でした。

さらに、女子4×400mリレーでは、愛知淑徳が3分45秒26というすばらしい県高校新記録で2位に入りました。中でもアンカーの水口小夜選手は、女子400mでも2位

(55.91) に入る活躍を見せてくれました。

(埼玉総体の結果は17ページを参照) (大島 修)



準優勝の水口選手

私にとって埼玉インターハイは、頂点に立てる最後のチャンスであり、また個人で初出場をした印象深い試合でした。

雑誌等で400mの優勝候補と書かれ、プレッシャーを感じる中、目標の54秒台に近づけるため冬期は絶対スピードの強化をして本番に臨みました。決勝では、ラストで前に出られた途端固まってしまうしましたが、300mまではとても気持ちよく走れ、準優勝を果たしました。マイルリレーでは4走を務め、レースが進むごとに後輩の気持ちが強く伝わってきて、私の力となりました。皆で勝ち取った最高の準優勝でした。目標の頂点には届かず悔しい思いもありますが、全力を尽くした結果なので、これをバネに次に向けて努力します。このインターハイを迎えられたのは、先生・先輩・後輩・家族、その他多くの応援してくださった方々のおかげです。ありがとうございます。

愛知淑徳 水口 小夜

## 高体連定通部

定通部の委員・全国大会監督で活躍をしていた2名が人事異動で全日制に変わり、年度初めは新体制作り奔走した。各学校は部員確保にあたり、6月15日 (日) の県大会 (全国大会選手選考会) をめざし、それぞれが参加できる地域の記録会などで実力を試した。

今年度は円盤投の重さが変更になり、また全国大会参加標準記録も大幅な見直しが図られた。新たな記録を突破し、3位入賞した選手の中から全国大会出場者が決まった。

その後、7月19日 (土) にウェーブスタジアム刈谷で強化練習会が行われ、リレーメンバーが決定し、8月16日 (土) ～18日 (月) の3日間、東京: 国立競技場で第43回の全国大会が開催された。(結果は16ページを参照)

少人数ではあるが、今後も定通生徒の活躍を期待したい。

(松橋 政人)

## 実業団

中部実業団連盟マラソン合宿 <7/2～26>  
(ニュージーランド 亀鷹津良 報告)

### 【合宿の主旨・目的】

今年度の目標は、来年の世界選手権 (ベルリン) 代表選手を出すことです。今回の合宿では、各社のトップクラスの選手を集め、レベルの高いトレーニングを行なうことで、世界を目指す意識を高める事が目的です。それらを踏まえて、次のロンドンオリンピックに向けて手ごたえをつかみたいと思っています。

そこで、3大マラソン (福岡、東京、びわ湖) を目標とする選手が、高い意識で質の高い練習をする環境として南半球のニュージーランドを選びました。気候は日本と反対で今は冬、気温は平均10度前後。そして練習環境にも恵まれています。過去、日本がマラソン王国時代に瀬古、宗兄弟などがニュージーランドで合宿をしました。愛知製鋼の中山監督、愛三工業の仙内監督もその時代に合宿に来ています。もう一度原点に戻り、中部実業団として実施することになりました。

### 【練習内容】

1日に走る距離は日によって異なりますが、1日平均40km前後。多い日は60km。月間1000km前後を走りますから、平均的な自家用車より多く走っています。

## 具体的な練習内容

1 40km 走 2 2000m×1 3 50km 走 4 5km×3  
5 (3000m+2000m+1000m)×3 など

## 【報告事項】

今回のメンバーはベテランから若手まで年齢層の幅はありますが、全員が同じトレーニングを消化しています。当初は全員ができるか不安な点もありましたが、恵まれた環境のもと、選手達がチームの代表としてプライドを持って取り組み、普段ではできない練習内容を、いい緊張感と雰囲気の中でしっかり行なっています。また、今回はトレーナー、調理師も同行しており、万全の体制で臨んでいます。これも各社の理解があり、これだけのメンバーが集まり、このような合宿ができることにとても感謝しています。

今回のレベルのトレーニングが全て消化できれば2時間8分台は可能で、その可能性を全員が持っています。これまでの2週間の練習状況を見て、選手の秘めた能力に驚きと予想以上の手ごたえを感じています。そして、それ以上に選手自身が充実感を強く感じているように思います。

## (参加メンバー)

## 1 スタッフ

- ・ 亀鷹津良 (トヨタ紡織)
- ・ 木口トレーナー
- ・ 仙内 勇 (愛三工業)
- ・ 新立調理師
- ・ 岩本照暢 (スズキ)

## 2 選手

- ・ 山本芳弘 (トヨタ紡織)
- ・ 高橋謙介 (トヨタ自動車)
- ・ 前田貴史 (トヨタ紡織)
- ・ 浜野 健 (トヨタ自動車)
- ・ 井端政等 (愛三工業)
- ・ 北川昌史 (スズキ)
- ・ 川 直人 (愛三工業)
- ・ 中村泰之 (スズキ)
- ・ 上條記男 (愛知製鋼)

(樋高 勇二)

## マスターズ陸上

## 心豊かな長寿社会への貢献役

北京オリンピックは男子100mのボルトの桁違いの強さや女子マラソンにおける本番への調整の難しさなど、様々な話題で盛り上がりました。このようにして陸上競技への関心が高まることにより、もう一度やってみようかという経験者や面白そうだから陸上競技をやってみようかという初心者の方々の受け皿として、マスターズ陸上の役割は益々大きくなったのではないかと思います。来年の全日本マスターズ陸上競技選手権大会へ向けて、多くの方々が入会していただける契機になればと思います。

愛知マスターズでは、今年も記録会を刈谷市のウェーブスタジアム刈谷で開催しています。まず4月26日の第31回は、愛知マスターズの記録会を始めてから初めて雨の中で行なわれました。それでも、過去2番目に多い193人という多くの競技者が集まり、雨の中、それぞれの種目・クラスで、競技が行なわれました。6月7日の第32回は、他の大会と重なったためか、やや少ない96人の参加でした。元々100人程度の参加者を見込んで競技日程が組んでありますので、競技の進行は順調に行なわれました。7月26日の第33回は朝から大変な暑さで猛暑の日となりましたが、過去最多の238人の競技者が集まり、熱い闘いが繰り広げられました。これで第1回からの累計参加者がちょうど3000人となりました。8月31日の第34回は167人の参加を得て、今年度の記録会はすべて終了しました。

愛知マスターズ記録会も第1回から第10回の参加者が

493人、第11回から第20回の参加者が915人、第21回から第30回の参加者が1271人と大幅に増えて来ていますが、今年度の第31回から第34回までで既に約700人となっていますので、第40回までには1600人を越えるのではないかと予測されます。

競技は実力に見合ったクラス分けをし、皆が楽しめるようにしています。今年も小学1年生から85歳といった年齢層が参加し一緒に競技をしていますので、老若男女の三世代交流の場ともなっています。皆様のごぞっての参加をお願いします。

全日本マスターズ選手権大会の準備状況ですが、来年は第30回記念大会に当たることから、日本マスターズ陸上競技連合では、何らかの趣向を凝らした大会を考えています。開催する地元としましては皆様のご期待に応えるよう、できる限りの準備をしたいと考えています。愛知陸協の会員の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

第21回全国スポーツ・レクリエーション祭 愛知県代表選手  
平成20年10月18日～21日 滋賀県 監督 佐藤武夫

番号	氏名	住所地	年齢クラス	出場種目	
1	田中 也寸志	安城市	M45	100m	200m
2	柴田 成夫	岡崎市	M45	円盤投	砲丸投
3	中山 佳行	三好市	M50	100m	200m
4	中山 史信	名古屋市	M55	800m	5000m
5	村田 孝司	新城市	M60	100m	200m
6	児玉 明	大府市	M65	走高跳	三段跳
7	岩崎 政春	春日井市	M65	100m	200m
8	加藤 吉博	東浦市	M65	400m	800m
9	大泉 通	東浦市	M70	1500m	3000m
10	鈴木 一郎	豊田市	M75	1500m	3000m
11	近藤 陽洲	名古屋市	M75	砲丸投	円盤投
12	石原 嘉武	西尾市	M75	60m	100m
13	中嶋 育宣	豊橋市	M80	400m	三段跳
14	谷寄 好美	知立市	W45	200m	走幅跳
15	金子 葉子	名古屋市	W45	100m	
16	山田 美智	大府市	W50	砲丸投	やり投
17	木村 和代	武豊町	W55	走幅跳	走高跳
18	中山 淳子	名古屋市	W55	1500m	3000m
19	石野 すすゑ	岡崎市	W70	走幅跳	60m
20	羽根田富美子	豊田市	W75	砲丸投	円盤投

(佐野 昭二)

## 愛知陸協 OB 会

「平成20年、愛知陸協 OB 会総会・懇親会」



國分代表を中心に寿杯を受けられた皆さん

長など7名の来賓を迎え、総会・懇親会が盛大に開催された。

國分一郎世話人代表の挨拶に続いて、予定の議案が原案通り承認された。その後、寿杯規定により、米寿の翠忠明

7月19日(土)、愛知選手権1日目の競技終了後、瑞穂ラグビー場会議室において、5名の新会員を含む63名の会員と瑞穂競技場福井管理課長はじめ、専門委員

氏、傘寿の鶴田政之氏、鈴木正之氏、伊藤宗七氏、高田輝男氏、大竹太氏、喜寿の小山田武氏、内藤義光氏に各々祝品が贈られた。続いて、新会員の坂井田醇三氏、外山幸男氏、石田美知枝氏、松山憲一氏、加藤春雄氏が紹介され、OB会のバッジが贈呈され、総会が終了した。

総会後、翠忠明氏の乾杯の音頭で懇親会がスタート。和気あいあいの中、大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。本会の発展とお互いの健康を願い、野澤正治氏の中締め(万歳三唱)で閉会した。(村瀬雄一郎)

## 競技会報告

### 第57回東海地区国立大学陸上競技大会 2008年6月29日名古屋市瑞穂公園陸上競技場

#### 男子

種目	1位	2位	3位
100m	中山 拓哉 10.83 名大	中野 弘幸 10.86 愛教大	西脇 慎二 10.87 静岡大
200m	井上 雄太 22.00 愛教大	山田 聖 22.29 愛教大	見置 高士 22.52 名大
400m	丹羽 雄輝 50.24 名工大	日比野陽平 50.85 愛教大	伊藤 誠也 51.12 静岡大
800m	森岡孝太郎 1.57.87 三重大	井上 博人 1.58.16 名大	荻久保吉隆 1.58.21 愛教大
1500m	荻久保吉隆 4.03.33 愛教大	松本 鉄平 4.03.88 静岡大	伊藤 章祥 4.04.78 静岡大
5000m	酒井 達哉 15.27.78 愛教大	中川 純一 15.30.10 名工大	濱田 洋平 15.30.52 名大
110mH (1.067m)	小藪 博史 14.88 岐阜大	相良 英優 15.07 岐阜大	西 淳史 15.10 愛教大
400mH (0.914m)	岩坂 紘司 53.23 愛教大	牧 祐輝 53.81 名大	西井 勝章 53.81 静岡大
3000mSC	鈴木 慎 9.27.00 静岡大	飯塚 彬光 9.28.38 名大	丸尾 健太 9.33.68 愛教大
4×100mR	名古屋大学 41.69 見置 高士 山崎 雄大 木原 深 中山 拓哉	愛知教育大学 41.71 内藤 景 磯部 慶 山田 聖 井上 雄太	静岡大学 42.46 西脇 慎二 小山 良 北原 崇 西井 勝章
4×400mR	愛知教育大学 3.19.68 内藤 景 中野 弘幸 神谷 貴俊 磯部 慶	名古屋大学 3.23.02 渡辺 太郎 牧 祐輝 藤浪 大輔 井上 博人	岐阜大学 3.23.46 宮崎 豊 竹内 健太 鈴木 達 伊藤 禎浩
走高跳	高羽 克尚 1.90 名工大	奥口 陽登 1.90 三重大	佐野 和寛 1.85 静岡大
棒高跳	西川 祐示 4.20 名大	小川 裕也 4.10 三重大	戸田 和文 3.80 静岡大
走幅跳	北原 崇 7.22 静岡大	才賀 寛樹 6.61 愛教大	岡本 和久 6.60 愛教大
三段跳	佐野 和寛 14.40 静岡大	北原 崇 14.05 静岡大	松藤 真 13.75 愛教大
砲丸投 (7.260kg)	小齊 健太 12.09 静岡大	斉藤 輝 12.05 三重大	山崎 智己 11.53 三重大
円盤投 (2.000kg)	小齊 健太 38.02 静岡大	小林 由英 36.49 静岡大	斉藤 輝 35.05 三重大
ハンマー投 (7.260kg)	服部 宏輝 51.48 岐阜大	山村 彰紀 42.35 名大	木梨 公介 34.72 豊技大
やり投 (0.800kg)	西川 祐示 54.22 名大	小林 由英 51.17 静岡大	金岩 聖 49.36 愛教大

#### 得点

	1位	2位	3位
トラック	愛教大 111	静岡大 84	名大 79.5
フィールド	静岡大 94	愛教大 56	三重大 53
総合得点	静岡大 178	愛教大 167	名大 108.5

#### 女子

種目	1位	2位	3位
100m	渡邊 千洋 12.51 愛教大	毛受由梨香 12.60 愛教大	阪井 珠恵 12.91 愛教大
200m	近藤 希実 26.32 愛教大	上野 綾香 27.17 静岡大	桑原 礼奈 27.39 浜医大
400m	洪谷 実香 1.01.64 愛教大	金尾明日美 1.02.05 名大	松本 夕佳 1.02.26 愛教大
800m	服部真紀子 2.18.88 愛教大	成瀬 直 2.19.43 愛教大	安川 裕子 2.20.80 名大
3000m	勝股梨江子 9.59.31 愛教大	西田 雅美 10.21.81 岐阜大	小山 倫代 10.38.35 名大
100mH	上野 綾香 14.72 静岡大	伊藤 綾夏 15.40 愛教大	森 あさか 16.17 愛教大
4×100mR	愛知教育大学 47.23 毛受由梨香 渡邊 千洋 近藤 希実 木南 洋子	静岡大学 51.75 渡邊 有紗 上野 綾香 土屋 貴子 鈴木 美春	名古屋大学 52.54 成瀬 葉香 村松沙那恵 菅野裕美子 金尾明日美
4×400mR	愛知教育大学 4.12.45 松本 夕佳 近藤 希実 洪谷 実香 阪井 珠恵	静岡大学 4.24.03 宇田 優里 鈴木 美春 福田 夏美 北岡 美沙	岐阜大学 4.35.92 長尾 咲良 若山ゆう子 生田 美希 川尻紗緒里
走高跳	高村 知里 1.60 静岡大	蟹谷安侑弥 1.45 愛教大	桐山真由美 1.45 岐阜大
走幅跳	森 あさか 5.15 愛教大	高村 知里 5.15 静岡大	渡邊 有紗 5.07 静岡大
砲丸投 (4.000kg)	菅原はるか 10.74 愛教大	小中真由美 9.83 名大	伊藤 綾夏 9.63 愛教大
円盤投 (1.000kg)	片嶋 佑果 41.46 愛教大	小中真由美 35.89 名大	菅原はるか 34.38 愛教大
やり投 (0.600kg)	片嶋 佑果 39.61 愛教大	東野 麻衣 38.65 愛教大	桐山真由美 37.62 岐阜大

#### 得点

	1位	2位	3位
トラック	愛教大 107	静岡大 61	名大 42
フィールド	愛教大 85	静岡大 39	岐阜大 28
総合得点	愛教大 192	静岡大 100	名大 58

### 第25回愛知県小学生リレー競走大会 平成20年7月5日名古屋市瑞穂公園陸上競技場

#### 少年

(PR: 県新記録、GR: 大会新記録)

種目	1位	2位	3位
県4年 50m	川崎ライオン 和田 瑞輝	新田 TFC 田原陸上クラブ 同順: 7.76	伊藤 壮太 7.90 田原陸上クラブ
全国5年 100m	若杉 俊佑 13.60 安城 JAC	石田 雄真 13.82 JAC 武豊	森下 翔太 13.86 新城陸上教室
全国6年 100m	木村 遼太 12.64 安城 JAC GR	秋江 洋志 12.84 AC一宮	渡会 元貴 12.94 田原陸上クラブ
全国 80mH (0.700m)	岩崎 聖 12.83 なごや陸上ク	伊藤 友明 13.10 千代田橋 AC	大谷 樹矢 13.30 田原陸上クラブ
全国東海 4×100mR	安城ジュニア陸上クラブ 50.32 PR・GR 川端 健太 木村 遼太 川島 拓也 遠藤 侑汰	田原陸上クラブA 52.04 河邊 健汰 河辺 勇輝 山田 大貴 渡会 元貴	AC一宮 52.26 小島 勇人 秋江 洋志 伊藤 勉 河村 将克
全国 走高跳	岡田 徹也 1.35 安城西部 AC	大石 勇樹 駒井 俊亮	豊橋陸上クラブ 田原陸上クラブ 同順: 1.30
県4年 走幅跳	建部 歩 3.83 新城陸上教室	金沢 右京 3.59 千代田橋 AC	松下 廉 3.45 三河安城クラブ
全国 走幅跳	渡辺圭一郎 5.11 なごや陸上ク	岩崎 佑太 4.45 千代田橋 AC	山田 大貴 4.40 田原陸上クラブ
全国 ソフトボール 投	竹内 元博 74.02 鬼南クラブ PR・GR	荻野 佑 66.69 新田 TFC GR	辻村 篤也 61.56 岡崎 JAC

少女

種目	1位	2位	3位
県4年50m	掛川 葵 7.77 JAC大府	明星 光 8.09 とよた AC	井下 誌織 8.19 新城陸上教室
全国5年100m	中野 真琴 14.14 豊橋陸上クラブ	杉浦 七海 14.40 里町 AC	北野喜理帆 14.46 十四山体育ク
全国6年100m	稲葉 水保 13.63 小牧ジュニア	鷺見 梓沙 13.65 JACとよあけ	河合 詩菜 13.67 安城 JAC
全国80mH (0.700m)	杉浦 伶奈 13.81 田原陸上クラブ	岡村 紗希 13.85 なごや陸上ク	石原 果奈 13.94 成岩 SC 陸上
全国東海4×100mR	安城ジュニア陸上クラブ 53.43 勝田 萌 伊藤 佳奈 内藤 彩 河合 詩菜	田原陸上クラブ 54.36 眞田 純奈 佐藤 菜穂 中尾真理子 鶴崎 那美	豊橋陸上クラブA 55.87 森本 星香 渡辺 真由 近藤 咲希 吉牟田友香
全国走高跳	近江 彩乃 1.30 JACとよあけ	城越 美那 永田 千尋	JAC大府 豊橋陸上クラブ 同順：1.30
県4年走幅跳	長屋 美月 3.68 なごや陸上ク	熊崎 円香 3.63 布袋陸上ク	木村 七海 3.41 安城北部 AC
全国走幅跳	佐藤 愛 4.28 千代田橋AC	神谷和花奈 4.10 錦町陸上	藤田 悠花 4.03 とよた AC
全国ソフトボール投	増田ひとみ 44.16 二本木 AC	大参 花菜 43.02 安城中陸上	近藤 詩織 41.22 錦町陸上

混合

種目	1位	2位	3位
県4年4×100mR	田原陸上クラブA 1.00.28 後藤 有砂 鈴木 麻妃 伊藤 壮太 和田 瑞輝	安城里町AC 1.00.92 池田有佳莉 森下 夏帆 鈴木 大貴 太田 泰雅	安城作野AC 1.01.07 鳥居 美紀 中村 奈緒 明瀬 大和 高井 拓海
東海5年4×100mR	安城ジュニア陸上クラブA 55.98 樋口 円華 井上 奈南 中津 遥太 若杉	豊橋陸上クラブA 56.90 中野 真琴 奈良 朋世 大林 豊 加藤 尚也	田原陸上クラブA 57.68 牧野 佳依 河合 志歩 畠山 昂大 武田 真人

	種目	1位	2位	3位
選手権男子	4×400m	愛知学院大 3.14.35 北岡 正寛 金原 優渡 日下部智久 田口 明	岐阜経済大 3.16.08 原 聖 竹内 雄作 小熊 翔一 大川 光	トヨタ自動車 3.17.25 伊藤 智 田中 星次 原 勇太 原 伸次
	5000m	二宮悠希乃 16.12.94 豊川高	加藤 麻美 16.30.98 豊川高	花岡 紗耶 17.10.26 中京大中京高
	4×100m	至学館高 47.52 瀬川 恵未 船坂 実来 杉浦 遥 今井沙緒里	岡崎城西高 47.72 尾野藤 幸 後藤 香奈 藤岡 稚子 市川 華菜	中京大中京 47.91 近藤 友美 小椋 敦子 飯田 美妃 中川 涼子
選手権女子	4×400m	瑞陵高 3.51.82 松下紗矢香 安保 真衣 高澤 理実 太田 英里	至学館高 3.55.44 浜崎 真帆 大谷友梨恵 園原 基予 糟谷 知世	中京大中京 3.58.64 杉江由季子 中川 涼子 川瀬真里奈 後藤 麻衣
	100m	浅野 伸明 11.12 栄徳高	笹田 康弘 11.13 東海中	田村 朋也 11.35 名古屋大谷高
	3000m	小島 秀斗 8.39.87 豊川工高	近並 郷 8.43.69 豊川工高	滝本 無限 8.57.29 愛知高
	110mH (0.991m)	天野 涼太 15.38 岡崎城西高	酒谷 昇吾 16.5 名古屋高	
	走幅跳	浅野 伸明 6.55 栄徳高	軒村 一成 6.20 岡崎城西高	酒谷 昇吾 6.14 名古屋高
	円盤投 (1.500kg)	小林 蓮 35.26 名古屋大谷高	高島 佑典 34.23 名古屋高	松尾 卓郎 30.85 守山西中
	100m	山田 恵里 12.54 長良中	熊澤 もも 13.06 愛知高	藤岡 稚子 13.13 岡崎城西高
国体男子	1500m	小林 愛実 4.40.28 豊川工高	中根 実来 4.41.94 平坂中	下村 環加 4.43.42 豊川高
	100mH (0.840m)	實 大地 15.66 沓掛中	福島 知樹 16.13 沓掛中	鵜飼 瞭汰 16.90 富士中
	円盤投 (1.000kg)	小出 拓実 35.21 河和中	墨 訓熙 34.42 木曾川中	木村 嘉紀 30.30 守山西中
	ジャベリックスロー	皆川晃太郎 51.47 桜田中	亀山 拓馬 50.62 高針台中	有竹 修平 48.13 富士中
国体女子	100mH (0.762m)	山本 麻湖 17.55 沓掛中	西尾 夏菜 18.89 古知野中	山田沙也加 19.73 長良中
	円盤投 (1.000kg)	羽島 和菜 24.64 守山西中	釜野 望 19.88 森孝中	吉田 美幸 18.53 木曾川中
	ジャベリックスロー	高塚 裕子 39.38 保見中	市川 実咲 39.01 守山西中	松嶋 夏緒 35.62 守山西中

**2008 東海混成競技大会愛知大会**  
**兼第29回愛知県混成競技大会**  
**兼第68回愛知選手県大会 (5000m・10000m・リレー)**  
 2008年7月5日・6日  
 名古屋市瑞穂公園陸上競技場・名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

	種目	1位	2位	3位
東海	十種競技	宮澤 陸 6650 中京大	井上 将成 6432 PVC 東三河	西川 祐示 6194 名古屋大
	七種競技	伊藤 綾夏 4207 愛知教育大		
愛知	十種競技	早川 周吾 6476 豊明跳躍友の会	井上 将成 6432 PVC 東三河	大林 太郎 6048 筑波大
	七種競技	伊藤 綾夏 4207 愛知教育大	木村 映里 3579 瑞陵高	宮田 美咲 3453 横須賀高
男子	四種競技	糟谷 隆明 2348 守山西中	竹屋 壮修 2258 東山中	安藤 良介 2258 守山西中
女子	四種競技	平手 佑佳 2612 知多八幡中	河合 彩音 2391 沓掛中	大村 成美 2171 河和中
選手権男子	5000m	土田 豊和 14.36.24 中央発條	島崎 真 14.38.87 トーエネック	浅羽 慶彦 14.38.98 トーエネック
	10000m	水越 大輔 30.36.03 中央発條	阿部 哲史 30.37.32 トーエネック	榊原 聡 30.51.24 中央発條
	4×100m	愛知学院大 40.82 山口 峰昌 市川 真央 伊藤 健志 岡田 健太	名古屋高 40.90 三浦 豊成 平本 拓也 牛田 朋宏 田下 隼大	中京大 40.97 古賀 裕志 山田 昌邦 森 勇人 後藤 弘樹

**第5回愛知レディース陸上競技大会**  
 2008年7月6日名古屋市瑞穂公園陸上競技場

(太字 大会新記録)

	種目	1位	2位	3位
中学	100m	松井 志保 13.22 古知野	永井 孝奈 13.35 愛知陸協	東入来知里 13.39 守山
	1500m	服部 優亜 4.49.81 なごや陸上ク	山本 美波 4.51.45 桜井	稲垣 朱乃 4.52.67 東山
	100mH (0.762m)	谷 優奈 15.48 保見	杉山 晴代 16.22 千種台	植村 美紀 16.27 扇台
	走高跳	榊原小侑希 1.53 河和	竹内友理奈 1.45 平針	平井 菜月 知多知多 松井美乃里 沓掛 同順：1.45
一般・高校・大学	走幅跳	布施 和花 5.21 平田	矢野 里奈 5.20 千種	柴田奈津希 5.02 豊橋陸上クラブ
	砲丸投 (2.721kg)	高塚 裕子 11.65 保見	中根 有那 10.23 六ツ美	山本 真貴 10.12 六ツ美
	100m	市川 華菜 12.33 岡崎城西高	飯田 美妃 12.61 中京大中京高	小椋 敦子 12.63 中京大中京高
	150mH (0.840m)	八木 瑞希 4.46.47 中京大中京高	伊藤 麻央 4.47.02 中京大中京高	神谷 益子 4.48.44 中京大中京高
100mH (0.840m)	中川 涼子 14.95 中京大中京高	近藤 友美 15.42 中京大中京高	渡邊 まなみ 15.81 瑞陵高	

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	400mH (0.762m)	西尾真梨子 1.02.71 中京大中京高	田村 舞帆 1.07.37 岡崎城西高	谷口 仁美 1.07.96 東海商高
	走高跳	河澄 真子 1.64 岡崎城西高	炭 水土里 1.61 千種高	浅井 奈央 1.58 岡崎城西高
	走幅跳	岩川 歩美 5.51 中京女大	山口 えり 5.44 愛知商高	加藤 紫帆 5.38 瑞陵高
	三段跳	中嶋 文望 11.32 岡崎城西高	早川友里恵 11.31 岡崎城西高	小川 詩織 11.30 中京女大
	砲丸投 (4.000kg)	伊東亜優美 11.90 惟信高	近田 茜 11.47 名城大附属高	村田みさき 9.43 愛知商高
	円盤投 (1.000kg)	加藤 千枝 39.57 中京女大	中島明日香 31.27 刈谷北高	矢野 享菜 30.60 愛知商高
リレー	やり投 (0.600kg)	吉野 菜美 42.13 中京女大	東野 麻衣 40.09 愛知教育大	浅井夕紀子 38.28 岡崎商高
	100+ 200+ 300+ 400m	中京大中京高 2.16.87 近藤 友美 小椋 敦子 西尾真梨子 飯田 美紀	愛知学院大 2.22.58 中谷 香織 宮崎 順子 今村 妃呂 鈴木 梨沙	一宮西高 2.24.69 伊藤 奈美 後藤 紗良 内藤有里子 服部 沙紀

	種目	1位	2位	3位
一般・高校・大学	400m	水口 小夜 55.93 愛知淑徳高	柘植 早織 57.57 中京女大	石田麻奈巳 58.62 日体大
	800m	伊澤菜々花 2.15.14 豊川高	柘植 早織 2.16.01 中京女大	吉川 侑美 2.17.69 桜花学園高
	1500m	二宮悠希乃 4.26.16 豊川高	鈴木亜由子 4.26.61 時習館高	加藤 麻美 4.26.92 豊川高
	100mH (0.840m)	山崎由加里 13.92 さかえクリニック	中川 涼子 14.14 中京大中京高	安藤由加里 14.22 中京女大
	400mH (0.762m)	石田 朋美 1.02.02 中京大	西尾真梨子 1.02.48 中京大中京高	石田麻奈巳 1.03.90 日体大
	5000mW	前川 知美 24.25.69 岡崎商高	光田 理子 24.37.75 津島北高	福本 美奈 25.17.49 日女体大
	走高跳	日高 里子 1.74 トヨタ自動車	松本明日美 1.71 中京大クラブ	河澄 真子 1.68 岡崎城西高
	棒高跳	前田 朋子 3.70 中京大クラブ	梅木 幸子 2.80 豊工B	牛田智菜美 2.70 三好高
	走幅跳	賀川 綾子 5.89 中京女大	山口 えり 5.65 愛知商高	岩川 歩美 5.61 中京女大
	三段跳	森 あさか 11.59 愛知教育大	藤野恵里子 11.26 中京大	岩川 歩美 11.26 中京女大
	砲丸投 (4.000kg)	伊東亜優美 12.04 惟信高	島影のぞみ 11.10 至学館高	近田 茜 11.08 名城大附属高
	円盤投 (1.000kg)	宮崎真由美 41.17 小島プレス	加藤 千枝 40.18 中京女大	高木 美波 37.80 光ヶ丘女高
	ハンマー投 (4.000kg)	北野 真利 47.35 中京大クラブ	赤嶺 愛 45.07 起工高	畔柳 里恵 44.97 中京女大
	やり投 (0.600kg)	吉野 菜美 45.00 中京女大	東野 麻衣 42.88 愛知教育大	萩原 麻子 40.25 豊田大谷高

**第 68 回愛知陸上競技選手権大会**  
**兼第 51 回東海陸上競技選手権大会予選会**  
**兼第 63 回国民体育大会愛知県予選会決勝一覧表**  
 2008年7月19日～20日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子 (太字 大会新記録)

種目	1位	2位	3位
100m	田中 星次 10.77 トヨタ自動車	岡本 勝太 10.90 中央大	横井 佑哉 10.95 愛知大
200m	岡本 勝太 21.02 中央大	鈴木 大介 21.20 名古屋大谷高	服部 辰也 21.52 中京大
400m	鈴木 大介 47.54 名古屋大谷高	石川 孝昌 48.40 福島大	恩田 健人 48.85 東洋大
800m	粟津 良介 1.56.44 明治大	樋口 諒 1.56.75 慶應大	鈴木 俊介 1.56.95 愛知学院大
1500m	大須賀秀和 3.59.78 愛知学院大	市川宗一郎 4.00.31 岡崎高	樋口 諒 4.00.78 慶應大
110mH (1.067m)	古川裕太郎 13.86 小島プレス	吉岡 康典 13.89 愛知陸協	飯田 将之 13.94 早稲田大
400mH (0.914m)	西 淳史 52.56 愛知教育大	山本 躍斗 52.82 福岡大	山内 博貴 53.11 中京大中京高
3000mSC	加藤 聡 9.17.20 トヨタ自動車	石塚 誠 9.21.44 愛知学院大	今枝 浩二 9.22.26 至学館高
5000mW	金田 淳志 21.56.45 豊川工高	大坪 鷹人 22.41.20 名古屋 AC	山口 幸大 22.45.75 惟信高
走高跳	早川 周吾 2.08 豊明跳躍友の会	杉江 浩一 2.05 CHUKYO SPIRITS	中村 明彦 2.00 岡崎城西高
棒高跳	有木 健人 5.31 ハートアンドハート	内田 哲郎 4.80 中京大	塚野 天啓 4.70 中京大中京高
走幅跳	嶋川福太郎 7.66 さかえクリニック	山内 良太 7.04 大体大	井上 将成 6.86 PVC 東三河
三段跳	木村 友紀 14.80 東学大	松藤 真 14.72 愛知教育大	二宮 聡 14.71 小島プレス
砲丸投 (7.260kg)	久保 浩司 13.80 高木工業所	久保 博規 13.50 中京大	廣瀬 剛史 13.45 中京大
円盤投 (2.000kg)	廣瀬 剛史 43.49 中京大	久保 博規 42.62 中京大	墨 浩輔 38.08 名古屋高
ハンマー投 (7.260kg)	久保 浩司 59.60 高木工業所	北浦 弘之 54.28 中京大クラブ	吉川 昌利 51.39 起ドリームAC
やり投 (0.800kg)	下り藤修大 72.76 小島プレス	花井 章宏 62.01 名古屋市消防局	大野 忍 60.61 ライズ

最優秀選手 岡本 勝太 (中央大)

女子

種目	1位	2位	3位
100m	河原崎中央里 12.20 日体大	市川 華葉 12.28 岡崎城西高	長崎 由佳 12.30 中京大
200m	木南 洋子 24.76 愛知教育大	水口 小夜 24.93 愛知淑徳高	小林 愛実 25.19 愛知淑徳高

最優秀選手 山崎由加里 (さかえクリニック TC)

**第 54 回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会**  
 2008年7月21日名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子

種目	1位	2位	3位
1年 100m	掛川 真 12.05 豊明栄	井面 拓也 12.57 豊橋南部	笹岡 拓也 12.75 城山
2年 100m	鈴木 祐太 11.36 本郷	黒野 脩斗 11.68 吉良	川野 直哉 11.80 扇台
3年 100m	笹田 康弘 11.33 東海	渡辺 将志 11.48 青陵	加藤 修 11.63 甚目寺
200m	◎加藤 修 22.87 甚目寺	河室 裕貴 23.26 弥富	梅村 悠希 23.61 一柳
400m	外村 亮詞 53.03 大府西	原 捷太 53.09 豊川東部	大参 智将 53.18 安城南
800m	太田 佑人 2.05.22 味美	山本 雅人 2.06.50 六ツ美北	西山 令 2.07.24 葵
1年 1500m	河合 祐哉 4.33.12 田原東部	外山 貴大 4.36.10 平坂	村上ヒデキ 4.36.67 東浦
1500m	◎石黒 大介 4.09.49 今伊勢	◎小山 裕太 4.10.40 豊川東部	新橋 基功 4.12.51 吉良
3000m	◎中村 駿介 8.58.51 吉良	◎松井 将器 8.58.57 下山	竹内 洸貴 9.08.03 矢作
110mH (0.914m)	◎松本 聖貴 15.06 古知野	杉浦 涼太 15.42 成岩	清水 陽平 15.45 甲山
4×100m	弥富 45.34 山田 宏樹 福嶋 勇太 河室 裕貴 藤ヶ崎慎也	本郷 45.47 尾崎 景 西川 雄也 宮口 正嗣 鈴木 祐太	豊南 45.62 横山 慎治 塚田 貴之 土井 啓太 池田 真央
走高跳	◎糟谷 隆明 1.88 守山西	◎岡田 隼矢 1.88 田原東部	◎安藤 良介 1.85 守山西
棒高跳	◎橋本 佑輝 4.00 千種	奥村 椋次 3.80 千種	榎 将太 3.70 岡崎南
走幅跳	西川 雄也 6.25 本郷	藤ヶ崎慎也 6.24 弥富	野本健太郎 6.15 六ツ美

種目	1位	2位	3位
砲丸投 (5.000kg)	◎清水 大樹 14.45 味美 PR・GR	◎墨 訓熙 13.20 木曾川 GR	白石 健太 12.67 藤森 GR

女子

種目	1位	2位	3位
1年100m	田中優梨亜 13.24 豊川西部	杉山 美貴 13.51 矢作北	武田 真歩 13.68 田原東部
2年100m	◎森 佑紀那 12.44 長良	松井 志保 13.24 古知野	谷 優奈 13.36 保見
3年100m	◎山田 恵里 12.54 長良	家田 知佳 12.68 東浦西部	青柳 妃咲 12.92 安城北
200m	◎北野 有紀 25.91 愛知淑徳	野村 舞 27.05 豊橋南部	山田 瑞紀 27.20 田原東部
800m	服部 優亜 2.18.57 黄金	吉川 侑希 2.20.99 振甫	今泉 志穂 2.21.88 御幸山
1500m	中根 実来 4.40.33 平坂	服部 優亜 4.42.45 黄金	清田 真央 4.45.28 福江
100mH (0.762m)	◎白井 奈央 14.68 豊橋南部	◎飯田 美咲 14.70 弥富	◎谷 優奈 14.95 保見
4×100m	長良 49.25 GR 安井 美幸 山田 恵里 松井 香保里 森 佑紀那	千種 50.87 矢野 里奈 河村 英理香 早川 りさ 水野 萌香	豊橋南部 50.91 伴 遥奈 宮下 杏樹 白井 奈央 野村 舞
走高跳	◎鈴木麻莉華 1.57 岡崎南	◎榊原小侑希 1.57 河和	◎平松真由香 1.57 碧南南
走幅跳	◎布施 和花 5.42 平田	◎古幡 知里 5.39 上郷	太田 成美 5.16 小坂井
砲丸投 (2.721kg)	高塚 裕子 11.62 保見	太田 奈穂 11.18 福岡	石黒 光里 10.80 羽田

(PR：県中学新記録、GR：大会新記録)  
(◎：全国大会標準記録突破)

**平成20年度東海高校総体入賞者一覧**  
平成20年6月20日(金)~22日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

[男子]

種目	順位	記録	氏名	所属	
100m	4	10.81	鈴木 大介 (3)	名古屋大谷	
	5	10.85	中川 恵輔 (3)	明和	
	6	10.86	安井 一樹 (3)	豊田大谷	
	7	10.93	三輪 将之 (2)	中京大中京	
200m	1	21.36	鈴木 大介 (3)	名古屋大谷	
	7	22.00	安井 一樹 (3)	豊田大谷	
	8	22.29	平本 拓也 (3)	名古屋	
400m	4	48.50	牧野 武 (3)	時習館	
	6	48.70	屋貝 博文 (3)	中京大中京	
	7	48.77	浅野 健二 (3)	至学館	
800m	2	1.53.12	杉田 祐平 (3)	中部大第一	
	4	1.55.61	山本 龍 (2)	岡崎城西	
1500m	3	4.09.40	市川宗一朗 (3)	岡崎	
	7	4.10.36	山本 修平 (2)	時習館	
5000m	1	14.27.76	田中 秀幸 (3)	豊川	
	2	14.29.38	ジョセフ ムンガ (2)	豊川	
	5	14.31.69	早川 智浩 (3)	豊川工	
	6	14.38.84	山本 修平 (2)	時習館	
	110mH	2	14.62	波多野良平 (3)	豊川
		3	14.75	嘉和知 諒 (3)	津島北
4		14.80	横山 享大 (3)	豊橋工	
5		14.84	牛田 朋宏 (3)	名古屋	
6		14.90	小久保翔太 (2)	成章	
400mH		1	52.08	山内 博貴 (3)	中京大中京
	2	53.22	中嶋 一成 (3)	時習館	
	3	53.63	嘉和知 諒 (3)	津島北	

種目	順位	記録	氏名	所属
3000mSC	2	9.11.11	今枝 浩二 (3)	至学館
	6	9.14.36	山口 浩勢 (2)	惟信
	7	9.16.61	阿部 卓 (3)	豊川工
5000mW	1	21.40.16	金田 淳志 (3)	豊川工
	5	22.05.05	久保田泰典 (2)	至学館
4×100mR	2	40.99	三浦 豊成 (2)	名古屋
			平本 拓也 (3)	
	3	41.59	牛田 朋宏 (3)	岡崎城西
			山下 隼大 (3)	
			鈴木 康仁 (3)	
	4	41.63	中村 建仁 (3)	名古屋大谷
			藤田 敏幸 (2)	
			屋貝 拓郎 (3)	
8	42.60	前田 一成 (3)	明和	
		鈴木 大介 (3)		
4×400mR	2	3.17.42	豊田 悠暉 (2)	一宮西
			丸山 裕史 (2)	
	4	3.18.16	田村 朋也 (1)	時習館
			豊田 悠暉 (2)	
6	3.18.32	亀田 陽介 (2)	名古屋	
		洋晶 (3)		
		中川 恵輔 (3)		
8	3.20.67	八木 博靖 (3)	津島北	
		鈴木 翼 (3)		
走高跳	1	2.07	中村 明彦 (3)	岡崎城西
	3	2.01	小澤 晃大 (3)	名城大附
	8	1.90	中村 修平 (3)	横須賀
棒高飛	2	4.70	甲村 佳樹 (2)	三好
走幅跳	6	7.03	中村 明彦 (3)	岡崎城西
	三段跳	2	14.57	鈴木 雄貴 (3)
砲丸投	8	14.10	横山 享大 (3)	豊橋工
	8	14.10	柘植 洋平 (2)	愛工大名電
円盤投	7	41.90	墨 浩輔 (3)	名古屋
	2	54.18	津田 直紀 (3)	名古屋
やり投	5	56.34	榊原 寛紀 (3)	名城大附
	7	55.09	松山 直樹 (3)	日進西
8種競技	1	5736点	中村 明彦 (3)	岡崎城西

[女子]

種目	順位	記録	氏名	所属
100m	3	12.08	市川 華菜 (3)	岡崎城西
	5	12.12	今井沙緒里 (3)	至学館
	7	12.21	前川 奈央 (3)	三好
200m	2	24.59	今井沙緒里 (3)	至学館
	4	24.71	市川 華菜 (3)	岡崎城西
400m	7	25.29	水口 小夜 (3)	愛知淑徳
	1	55.39	水口 小夜 (3)	愛知淑徳
800m	8	57.00	太田 英里 (3)	瑞陵
	2	2.14.29	吉川 侑美 (3)	桜花学園
1500m	7	2.16.32	鈴木亜由子 (2)	時習館
	1	4.26.43	伊澤菜々花 (2)	豊川
	2	4.27.19	奥田和佳奈 (3)	豊川工
3000m	3	4.29.42	鈴木亜由子 (2)	時習館
	1	9.19.10	二宮悠希乃 (3)	豊川
	2	9.26.40	加藤 麻美 (3)	豊川
3	9.28.68	奥田和佳奈 (3)	豊川工	



種目	順位	記録	氏名	所属
3000m	6	9.39.14	花岡 紗耶 (3)	中京大中京
	8	9.47.56	下村 環加 (1)	豊川
100mH	2	14.35	中川 涼子 (3)	中京大中京
	5	14.53	近藤 友美 (2)	中京大中京
400mH	2	1.02.70	西尾真梨子 (2)	中京大中京
	4	1.03.06	齋藤 結 (3)	豊明
3000mW	1	13.41.86	光田 理子 (3)	津島北
	3	13.53.65	大津 苑美 (3)	一宮西
4×100mR	2	47.78	尾野藤 幸 (2)	岡崎城西
			後藤 香奈 (2)	
			越 美彩子 (3)	
			市川 華菜 (3)	
3	47.80	瀬川 恵未 (3)	至学館	
		船坂 実来 (1)		
		水上 祥子 (1)		
7	48.00	今井沙緒里 (3)	瑞陵	
		渡邊まなみ (3)		
		高澤 理実 (3)		
		太田 英里 (3)		
8	48.80	安保 真衣 (2)	三好	
		近藤 美希 (3)		
		前川 奈央 (3)		
		谷村 育美 (1)		
4×400mR	1	3.48.73	近藤 里佳 (1)	愛知淑徳
			福島 優 (2)	
			小林 愛実 (2)	
			竹下 晴子 (2)	
2	3.48.88	3.49.81	水口 小夜 (3)	瑞陵
			松下紗矢香 (1)	
			安保 真衣 (2)	
			高澤 理実 (3)	
3	3.49.81	3.51.79	太田 英里 (3)	中京大中京
			杉江由季子 (3)	
			飯田 美妃 (2)	
			中川 涼子 (3)	
6	3.51.79		小椋 敦子 (2)	至学館
			浜崎 真帆 (3)	
			瀬川 恵未 (3)	
			園原 基予 (1)	
走高跳	1	1.64	今井沙緒里 (3)	岡崎城西
	2	1.61	中嶋 文望 (2)	岡崎城西
	4	1.61	浅井 奈央 (3)	岡崎城西
走幅跳	1	5.56	山口 えり (3)	愛知商
	2	5.51	加藤 紫帆 (3)	瑞陵
砲丸投	4	12.24	伊東亜優美 (3)	惟信
	7	11.69	近田 茜 (1)	名城大附
	8	11.38	赤嶺 愛 (3)	起工
円盤投	4	39.64	高木 美波 (3)	光ヶ丘女子
	5	37.83	高橋 裕美 (3)	至学館
	7	36.68	佐藤 絢香 (3)	津島北
やり投	3	40.67	萩原 麻子 (2)	豊田大谷
	4	40.05	夏目 陽子 (3)	刈谷北
	6	38.43	浅井夕紀子 (3)	岡崎商
	7	38.02	田中 真央 (2)	至学館
7種競技	3	4582点	太田 穂 (3)	名城大附

種目	氏名	学校名	予選	準決	決勝
800m	山本 龍	岡崎城西	⑦1.55.87		
	杉田 祐平	中部大第一	②1.52.97	⑧2.07.84	
1500m	市川宗一朗	岡崎	⑧3.54.47		
	山本 修平	時習館	⑩15.23.26		
5000m	田中 秀幸	豊川	⑫15.01.53		
	ジョセフ ムンガ	豊川	⑧14.29.93		
	早川 智浩	豊川工	⑮14.53.45		
	牛田 朋宏	名古屋	②14.87	②14.66	⑧14.75
110mH	横山 亨大	豊橋工	②14.88	④14.90	
	波多野良平	豊川	①14.80	③14.70	⑤14.49
	小久保翔太	成章	②14.93	⑤14.97	
	嘉和知 諒	津島北	③14.99	⑥14.97	
	山内 博貴	中京大中京	①53.11	①52.06	⑥53.28
400mH	嘉和知 諒	津島北	①52.96	②52.45	⑧54.21
	中嶋 一成	時習館	②53.29		
3000mSC	山口 浩勢	惟信	⑧9.22.89		
	今枝 浩二	至学館	②9.12.59		④9.06.21
5000mW	金田 淳志	豊川工	③22.02.00		⑩22.14.96
4×100mR	名古屋		③41.67	④41.62	
	名古屋大谷		⑤41.95		
	岡崎城西		⑤42.43		
4×400mR	名古屋		⑥3.20.28		
	時習館		⑦3.18.94		
	一宮西		⑥3.18.84		
走高跳	小澤 晃大	名城大附	⑩1.94		
	中村 明彦	岡崎城西	①2.00		⑨2.00
棒高跳	甲村 佳樹	三好	記録なし		
走幅跳	中村 明彦	岡崎城西	欠場		
三段跳	鈴木 雄貴	中京大中京	②14.76		⑥14.74
ハンマー投	津田 直紀	名古屋	⑩53.50		
やり投	榊原 寛紀	名城大附	⑩55.51		
八種競技	中村 明彦	岡崎城西			①5900点 日本高校新記録

◎女子

○は順位

種目	氏名	学校名	予選	準決	決勝
100m	今井沙緒里	至学館	①12.06	③12.03	
	市川 華菜	岡崎城西	②12.06	④12.02	⑦11.98
200m	今井沙緒里	至学館	①24.47	①24.47	①24.35
	市川 華菜	岡崎城西	①25.04	①24.73	④24.90
400m	水口 小夜	愛知淑徳	①56.01	①55.58	②55.91
800m	吉川 侑美	桜花学園	④2.13.84		
	鈴木亜由子	時習館	③4.24.40		⑮4.27.29
1500m	伊澤菜々花	豊川	②4.21.36		⑨4.24.10
	奥田和佳奈	豊川工	⑤4.24.22		
	加藤 麻美	豊川	⑥9.29.95		
3000m	花岡 紗那	中京大中京	⑩10.00.82		
	奥田和佳奈	豊川工	⑤9.22.11		⑩9.35.67
	二宮悠希乃	豊川	②9.21.74		⑦9.21.93
100mH	中川 涼子	中京大中京	②14.43	⑤14.41	
	近藤 友美	中京大中京	④14.63	⑦14.44	
400mH	西尾真梨子	中京大中京	⑤1.02.51		
	齋藤 結	豊明	⑥1.07.07		
3000mW	大津 苑美	一宮西	⑥13.57.11		⑨13.42.75
	光田 理子	津島北	⑧14.00.42		⑦13.35.81
4×100mR		岡崎城西	③47.93		
		至学館	②47.50	③47.38	
4×400mR		愛知淑徳	①3.46.56	①3.45.46	②3.45.26
		瑞陵	①3.48.58	⑧3.53.47	
		中京大中京	③3.53.08		
走高跳		至学館	①3.51.80	⑦3.50.77	
	浅井 奈央	岡崎城西	⑩1.59		
	中嶋 文望	岡崎城西	記録なし		
走幅跳	河澄 真子	岡崎城西	①1.65		①1.74
	山口 えり	愛知商	⑩5.64		

平成 20 年度 全国高等学校総合体育大会  
陸上競技対抗選手権大会 (熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)  
平成 20 年 7 月 29 日 (火) ~ 8 月 2 日 (土)  
愛知県選手成績一覧表

◎男子

○は順位

種目	氏名	学校名	予選	準決	決勝
100m	安井 一樹	豊田大谷	③10.80	⑥10.76	
	中川 恵輔	明和	③10.82	⑧10.79	
	鈴木 大介	名古屋大谷	④10.80	⑦10.85	
200m	鈴木 大介	名古屋大谷	①21.62	②21.52	③21.73
400m	屋貝 博文	中京大中京	④48.80	⑧50.56	
	牧野 武	時習館	①47.96	②47.98	⑤48.45

走幅跳	加藤 紫帆	瑞陵	⑬5.47		
砲丸投	伊東亜優美	惟信	⑤12.08		
円盤投	高橋 裕美	至学館	⑳25.45		
	高木 美波	光ヶ丘女	⑩38.00		
やり投	萩原 麻子	豊田大谷	㉒38.83		
	夏目 陽子	刈谷北	㉕36.96		
七種競技	太田 穂	名城大附			㉗4627点

**「第43回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会」**  
 平成20年8月16日(土)～18日(月) 東京：国立競技場



猛暑の愛知から東京へ向かうと天候は大荒れ。競技1日目は土砂降りの雨。2日目は夏とは思えない気温に震え、最終日は夏の暑さがもどる

という大会になった。

都道府県対抗の成績は女子トラック競技で2位、女子総合3位と昨年の順位を上回ったが、男子は得点を伸ばすことができず、男子総合は5位と後退した。選手は33名で、全種目への出場ができなかったのは残念であった。それでも上位入賞を果たすなど、愛知をアピールすることはできた。  
 ◎男子—800m 4位荒木伴哉、1500m 3位近藤仁、2000m 障害は1位近藤優輝、2位里村隆幸と愛知同士のトップ争いとなった。4×400mR8位岸端勇・近藤優輝・里村隆幸・荒木伴哉、円盤投8位荒島大雅(以上所属は科技高刈谷)。  
 ◎女子—400m・800mの二種目を制覇した松橋七恵(科技高刈谷)はリレーも3位の活躍で、女子最優秀選手に選ばれた。春名恵里(豊橋)も800m5位、3000m7位の二種目入賞であった。100mH2位櫻井京子(科技高刈谷)もメダルに届いた。4×100mR3位鈴木優華・櫻井京子・山田千紘・松橋七恵、走高跳7位渡邊彩(豊橋)、砲丸投7位千田愛(中央)と女子は昨年を大きく上回る活躍を見せた。東京オリンピックが行われた国立競技場。今年も選手たちから多くの感動をもらった。(松橋 政人)

**理事会等会議報告**

○理事会 8月11日(月) 愛知県教育会館

1 協議事項

- ①第63回国体「愛知県代表選手団」の選考について
- ②国体代表選手の強化合宿について
- ③2008名古屋ハーフマラソン大会要項について
- ④その他

2 報告事項

- ①愛知選手権大会「選手権章寄贈者」について
- ②日本陸連評議員会について
- ③全国女性委員会について
- ④全国高等学校陸上競技対抗選手権大会の成績について
- ⑤名古屋シティマラソン実行委員会について
- ⑥「勤労者スポーツ大会」の大会運営の協力について
- ⑦愛知駅伝に関する事項について
- ⑧各専門委員会からの報告
- ⑨その他 (稲垣 裕)

**栄章**

おめでとうございます

○愛知陸上競技協会会長表彰(7月20日瑞穂)



左から外山氏・國分副会長兼理事長・今泉氏

外山幸男(名古屋支部)

今泉良三(東三河支部)

○愛知陸上競技協会特別表彰(日本記録樹立)

内藤真人(ミズノ)

中田有紀(日本保育サービス)

○東海陸上競技協会賞(8月31日 静岡草薙)



國分副会長兼理事長を囲んで表彰を受けられた皆さん

江藤照雄(名古屋支部)

平林栄治(名古屋支部)

西垣完彦(名古屋支部)

安藤昌男(東三河支部)

山田孟司(尾張支部)

田嶋利夫(西三河支部)

高木章治(名古屋支部)

對木秀之(尾張支部)

井上和孝(尾張支部)

**お く や み**

長年、本県の陸上競技発展のため多大のご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
森 憲治	20・2	東三河
西村 範雄	20・7	東三河

**編 集 後 記**

◆数々の感動が今も残る北京オリンピックも終わり、大分国体が間近となった。県選手団の活躍を大いに期待したい。  
 ◆今号から「学校紹介」を特集。皮切りとして、豊川高校の施設や部員の活躍の様子を取材した。北野先生と部員の皆さんに多謝。◆第26回レディース大会が迫った。陸上愛知の団結力を示したい。

**編 集 委 員**

占部 輝之	大久保真理子	大西 敏功	外山 修
中尾 洋一	新美 準人	西垣 完彦	野口 一昭
山本 三郎			